報告事項

報告事項 1	
協議会議長	福永 栄一

【一社日本 L】第 4 回理事会議事録（2022/03/10 開催）……P4～10
【一社日本 L】第 3 回全国ガバナー会（社員総会）議事録（2022/03/23 開催）…P11～19
【一社日本 L】第 5 回理事会議事録（2022/04/27 開催）……P20～22
【一社日本 L】第 8 回執行理事会議事録（2022/05/25 開催）……P23～26
【MD336】ガバナーエレクト会議議事録（2022/05/21 開催）……P27～30

【一社日本 L】現・次期準備執行理事会各資料より抜粋（2022/06/01 開催）
※以下、池原次期議長からの報告

2022-2023 年度一般社団法人日本ライオンズ組織図（案）……P31
定款 6 項変更（案）……P32～38
理事会内担当理事・委員会構成（案）……P39

※下記内容は全て（案）
・理事会構成員（案）※資料参照
・名誉理事長新設(山田元国際会長)⇒議決権なし
・一般財団法人日本ライオンズ・日本ライオンズ大学校の各理事
・日本ライオンズビジョン 2025 委員会新設
・委員会について SON がなくなり日本ライオンズ 70 周年記念事業委員会新設
・委員長に古川 MD337 議長、副委員長に増澤 MD334 議長
・第 8 回 SON 夏季広島大会委員長は福永現議長が就任、委員会は PR マーケティングに含まれる
・現執行理事はそのまま委員会委員長として継続される⇒定款変更
・次期 8 複合地区議長は委員会の副委員長として任命された
・新年度理事会内理事、池原は SON・PR マーケティング等の担当理事として就任
・次年度の理事長は MD330 の村木秀之氏が推薦される予定
・2023-2024 年度は MD331 の田名部氏が新理事長として推薦予定

次年度予算案について
・旅費交通費は予算の関係上 0 とする。MD で検討のこと
・ライオン誌発行については 170 万× 6 回とする(但し 2 回はデータ)
・ライオン誌デジタル化について最重点で検討する。
・会員数 79.000 人で収入見込みとしている。(次年度の収支予算は現で計画した)

次期シーハン国際会長公式訪問と晩餐会について
・2022 年 7 月 19 日(火)
　場所　：名古屋マリオットアソシア
　時間　：公式訪問 14:00～17:30　晩餐会 18:00～
　登録料：16,000 円/人（公式訪問と晩餐会がセット）
・336 複合地区出席者 30 名
・協力金 各複合地区 400,000 円拠出
・服装ビジネススーツ、元国際理事・現・前地区 G はネームバッヂ着用

その他
・日本ライオンズ 70 周年記念事業について⇒詳細の説明なし
・次期第 1 回全国ガバナー会(社員総会)は 7 月 7 日(木)予定、会場等詳細は未定

報告事項 2	
次期協議会議長　予定者	池原　堅

2022-2023 年度 336 複合地区組織表（案）について
次期組織表（案）……P40

2022-2024 年度一般社団法人日本ライオンズ監事
(元議長)岡村 聖爾氏を 336 複合地区から選出した
※4 複合地区から各 1 名選出、任期は 2 年

2022-2023 年度一般社団法人日本ライオンズアラート委員会西日本統括リーダー
(次期第一副地区ガバナー)藤井 信英氏が 一社）アラート委員会で任命された

2022-2023 年度 336 複合地区 GAT コーディネーター
次期 GAT 日本全域リーダーからの任命依頼状 …… P41

2022-2023 年度 336 複合地区 LCIF コーディネーター
今期国際会長と LCIF 理事長からの（元ガバナー）高岡 英治氏宛任命状 …… P42

2022-2023 年度 LCIF MD336-337 副エリアリーダー
今期国際会長と LCIF 理事長からの（元議長）橋本 充好氏宛任命状 …… P43

報告事項 3	
協議会議長	福永 栄一

2021-2022 年度 336 複合地区 渡部雅文 国際理事支援委員会について
※2021-2022 年度　委員会組織の再編成について

『ライオンズクラブ国際協会 渡部雅文国際理事退任祝賀会』（仮称）について

●開催日時：2022 年 8 月 20 日（土曜）開始時間 14：00～　　（予定）
●開催場所：岡山市内（グランヴィアまたはＡＮＡクラウンプラザ）
●出席要請範囲の策定（150 名程度の宴会場にて手配中）
・336 複合地区および 336-Ｂ地区
・国際理事関係
・日本レベル
・その他出席要請者

報告事項 4		
第 68 回年次大会委員長	※山田 春男委員長欠席の為、代理の大会事務局長より	森田 安芸彦

2022 年 5 月 22 日（日）にて 336 複合地区　第 68 回年次大会を開催いたしました

・御礼と報告（山田大会委員長/代理：大会事務局長 森田よりご報告）
・大会終了後の展開（ＨＰの活用報告）
・年次大会事務局閉局のお知らせ（06/20 閉局）
年次大会事務局閉局案内 …… P44

報告事項 5	
MD336 会則および付則・運営マニュアル編集委員会委員長 2022-2024 年度国際理事候補者推薦選挙管理委員会委員	安田 克樹

ライオンズ必携第 60 版の発行
現在、日本ライオンズ会則委員会にて 59 版よりの修正、編集を実行中で 10 月末か 11 月初めに発行予定です。その後、運営マニュアルの修正、編集が可能となると考えます。
特に継続審議事項等はありません。
【一社日本 L】第 3 回国際理事候補者推薦選挙
管理委員会議事録（2022/03/29 開催）…… P45～47

報告事項 6	
GMT コーディネーター	真鍋　隆

国際本部集計 クラブ数・会員数（2022 年 4 月末現在）…… P48
336 複合地区 GMT 報告書（2022 年 3 月末現在）…… P49

報告事項 7	
GLT コーディネーター	池原　堅

6/3 ANA クラウンプラザホテル岡山にて次世代リーダーシップセミナーを開催
講師：335 複合地区 GMT コーディネーター 川野 浩史氏
出席者：70 名

報告事項 8	
GST コーディネーター	澤　辰水

【GAT Japan】第 6 回 WEB 会議議事録（2022/03/23 開催）……P50～55
6/16 第 2 回 GST フォーラム（伊丹市）開催
336 複合地区　現地出席者数 9 名　WEB 出席者数 37 名

報告事項 9	
336 複合地区ガバナー協議会 事務局運営委員会	森田 安芸彦

2022 年 6 月 9 日（木）にて事務局運営委員会を開催いたしました
本年度の委員会としての事務局内・年次大会企画などの取り組みおよび進捗状況を含めた
本年度の総括を行い次年度へ向けて更なる委員会としての任務向上を議題とする。
事務局運営委員会議事録（2022/06/09 開催）……提出期限後会議につき当日資料

報告事項 10	
YCE・国際関係委員会委員長	高橋　淳

【一社日本 L】第 5 回委員会議事録（2022/04/25 開催）……P56～59

報告事項 11	
大会参加・迎接・プロトコール委員会委員長	福代 明正

336 複合地区内大会参加者数について（2022/06/07 現在）……P60
「336 の夕べ」について……P61

報告事項 12	
MC・ライオンズ情報・アラート委員会委員長	高岡 英治

MD336 アラート委員会活動規定（案）……P62～69
【一社日本 L】第 7 回委員会議事録（2022/04/26 開催）……P70～75
【MD336】第 3 回委員会次第（2022/06/07 開催）……P76
※議事録割愛、録画 HP 掲載

報告事項 13	
一社）日本ライオンズ ライオン誌日本語版委員会委員	玉浦　巖

第 9 回委員会報告書（2022/04/07 開催）……P77～79
第 10 回委員会報告書（2022/05/10 開催）……P80～83

報告事項 14	
IT･MC･情報特別委員会委員長	大木 寿之

【MD336】第 2 回 IT･MC･情報特別委員会次第（2022/05/17 開催）……P84～85
※議事録割愛、録画 HP 掲載

報告事項 15
その他

一般社団法人　日本ライオンズ　第４回理事会議事要録

開催日時：２０２２（令和４）年３月１０日（木）１３：３０～１６：００
場　　所：　WEB 会議（ZOOM）

１．本日の出席者の確認

理事長　　仁科良三
副理事長　　山川洋、古川隆、松岡勲
専務理事　　村木秀之
常務理事　　鶴嶋浩二、下間俊悦、山本基博、三宮秀介、福永栄一、
理　事　　森川明治郎、中谷宣巨、伊藤明彦、石橋貞、岡村聖爾、森口孝行、
川島正行、渡部雅文、藏大介、永田賢司〔欠席〕、
山田實紘〔欠席〕、鈴木誓男
監　事　　竹下直義、髙橋克文〔欠席〕、福田惠太、吉見章一〔欠席〕
理事総数：　２２名の内２０名出席、監事総数：４名のうち２名出席、理事会の定足数充足。
オブザーバー：　４名の出席。
ライオン誌委員長　団英男、
池田和司法律顧問、吉田宗一郎会計顧問、菅原雅雄事務総長

２．開会宣言

松岡専務代理は、議事運営に関する諸留意事項を説明の上、理事、監事、オブザーバーの出席を確認し定足数を満たしているので理事会成立報告の後、開会の宣言により会議開催。

３．理事長の挨拶

理事長から、各地の日本ライオンズの LCI 活動への尽力にお礼が述べられた。
３月２３日総会に向け、議事提案を一つ一つ審議、賛成多数のものは可決、その他の議案は再度審議を行う方法で進める。

４．議事録作成人及び議事録署名人の指名

議事録作成人　古川副理事長、村木専務理事
議事録署名人　理事長、本日出席の全監事

５．会議資料の確認並びに理事会進行について

松岡専務代理は、案件及び追加資料について出席者に確認を求めた。

６．審議事項

（１）第３回社員総会概要（2022 年 3 月 23 日　WEB 開催）

時間割案、出席対象者等を確認。審議事項は本日の審議結果とする。了承。

（２）日本ライオンズ 70 周年記念事業について

松岡副理事長から、事業案概要の説明があり。過去にライオンズが白い杖の代表的な事業を行ったことは広く知られており、日本でも、全国の障害のある方、車椅子の必要な方に１万台寄贈するメイン事業を発信していきたい。
全国の地区ガバナーから寄贈してもらうことにより、全国の必要な方にいきわたると思われ、資金の一部はLCIFに申請可能と見込まれる。

川島理事、渡部理事、森川理事、福田監事から、ニーズや事業内容について地区に持ち帰る、特別委員会を設置するなど時間をかけて検討する意見があり。**松岡副理事長**から、第１回執行理事会から意見交換を重ねた結果として、本日提案している経緯の説明があり。

仁科理事長から、70周年記念事業をやることを前提とし、車椅子、その他の事業も含め、いずれかに絞り込んで実施することを丁寧に継続議論する旨提案があり。

これについて、採決の結果、１１名が賛成に挙手、９名が挙手なし　⇒【決定事項】継続審議、特別委員会を設置し詳細を取り決めていく。

（３）次年度理事会構成について

山川副理事長から、提案について説明があり。
日本ライオンズは毎年執行理事が交替するため、理事長が任期終了後に前理事長として理事会に残り、相談役としてアドバイスするシステムにした方が良い。また、行政や関連団体との連絡業務担当、前理事長を補助担当の理事2名が必要と見込まれ、いずれも一部規約の改正を要する。
仁科理事長から前の理事長が次の年度に理事会に残ることにより、業務手続が簡便となる事務手続き上の理由について説明があり。

意見交換がされ、**松岡副理事長**から、以下の意見があったことが確認された。

① 前回の執行理事会で提案され、昨年度から継続審議されている通り、今後理事長は次年度前理事長ポストで理事就任を諮る議案提案についての可否。
② 次期役員構成の継続審議について、次回理事会は5月25日開催予定。次年度に向けて役員の構成や予算の【案】は4月下旬、5月の出来上がりが望ましく、継続審議ならばある程度の時間を区切ることが望ましい。
③ GATの全域／エリアリーダーからの情報が全国にいきわたる体制を整える必要があるため、日本ライオンズの役員とする可否。

そのほか、**福永常務理事**から、前理事長の補助担当理事２名の要件について質問があり、**山川副理事長**から、２年目理事から輩出され、理事の人数は従来通り変更ない見込みとのことだった。

三宮常務理事から、6月15日の社員総会に向け、原案を作成する特別委員会、**福田監事**から、次年度への引継ぎを行う準備理事会（6月中、7月）設置の提案があり、賛成複数。

また、本議案提案決定の詳細について以下が確認された。

① 現理事長が次年度、理事として、前年度理事長は残る。
② 今後の議案提案は、事務総長へ送信、理事長、専務理事により内容検討し、その後執行理事会で諮る。直接理事会メンバーには送信しない。
③ 次年度は、4 月以降全国のガバナーエレクト決定後、次期議長予定者が内定、予算等も含めて 5 月、6 月は次期組織案、予算案に着手する。

採決の結果、賛成多数 ⇒【決定事項】次年度理事会に前理事長を含めることを、現在の「社員・理事および監事・相談役等の選任基準に関する規定に基づき説明し、次回総会に【報告】する。

（4）会議費、会議旅費について

山川副理事長から、提案理由の説明があり。

日本ライオンズの旅費はコロナ禍で 1,000 万円を超えている。平時であればこの 2.5 倍になると思われる。このお金はメンバーの会費であり、本来奉仕に使われるべきである。理事会、執行理事会、総会等、東京で毎回やることではなく、議長の出身地で、持ち回りでやれば不公平感はなくなる。その地にいって、その地にお金を落とすことがライオンズクラブの一つの奉仕の方法ではないか？毎回場所は変更してもよい。今後の諸経費、費用を考えると切り詰めるところは切り詰める必要がある。日本ライオンズクラブが襟を正す必要があり、事務局の効率化にもつながる。

採決の結果、全会一致決定 ⇒【決定事項】各種委員会旅費支給廃止を理事会決議につき、総会に【報告】する。

（5）補正予算案と事務局体制

鶴嶋常務理事から、説明があり。

本年度の予算は前年度の理事会で作成され、理事会承認を経て提案され、総会にて承認された。今年度から法人部門とライオン誌部門が初めて 1 本化された予算であったため、今年度に次の予算が含まれていなかった。

・法人部門の職員補充人件費
・継続雇用職員の人件費予算 5 か月分のみ記入

以上により 3,074,000 円の増額を致したく、理事会費に組み込まれていた旅費と会場費を、今回はこの部分を分けて計上、補正予算として 3,074,000 円を組んでいただきたい。次年度からは 5 月ぐらいには来年度の予算案を来年度執行部の方々と組んで見直し、補正予算を組まなくてよい状況にしていただきたい。

仁科理事長から、補正の財源は前年度繰越の取り崩しで収支をあわせるとの説明があり。

採決の結果、全会一致決定 ⇒【決定事項】補正予算【案】を了承した。補正予算は理事会決議だが、総会において広く社員に提示説明してご理解いただくよう【報告する】。

（6）アラート委員会と社会福祉協議会との提携

山川副理事長から、説明があり。

日本ライオンズは全国の社協との提携は済んでいるが、都道府県単位での提携が済んでいないところが多数あった。アラート委員会の中では県単位の提携は必須だが、東京都とも提携は済んでいない。社協から書状を出していただき、県単位の災害協定締結も一層進めたい。

この件は議案扱いではなく、総会では報告とする。⇒各地域で締結しているところが多いが、県単位で提携を推奨いただくよう総会においても【報告】する。

（7）国際理事候補者推薦選挙管理委員会の選挙投票人に元国際理事会アポインティを加える件

三宮常務理事から、説明があり。

国際理事候補者推薦選挙に対して選挙管理委員会が発足された。国際理事候補者推薦選挙手続き規則には、投票人について、現・元国際会長、現・元国際理事、現日本ライオンズ理事会構成員、現地区ガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナーが記載されている（計約 150 名）。

元国際理事会アポインティは、国際協会では、元国際理事と同格に扱われているので含まれているのではないかと質問があった。国際協会では現在元国際理事と同格となっている。先日の執行理事会から会則委員会で検討するようにとのことで、会則委員会では元国際理事会アポインティを投票人に加えるのは当然だが、この会則改正には複合の年次大会の決議が必要と記載があり、必要との意見が 8 名のうち 5 名からあがり、2 名は現状の拡大解釈でよいのではないか、1 名はどちらとも言えないとのことだった。会則委員会だけで決められないため、特に現・元国際理事と記載のある中に、元国際理事会アポインティが含まれるものだという解釈でよいか、意見を伺いたいとのことだった。

仁科理事長および**松岡副理事長**から、今回は投票人に加えることが執行理事会で決定されている。会則委員会には、今後の会則変更について複合年次大会で議論を深めて、今年度に間に合うようにしてもらうことを要請したとの返答があり。

採決の結果、賛成多数決定　⇒【決定事項】元国際理事会アポインティを投票人に加えることを、総会にて【報告】とする。最新のプロトコルにはアポインティも元アポインティも国際理事の後に含まれているので、今後のライオンズ必携もそのように修正する。なお、鈴木理事から LCIF 元理事も同様に含まれている旨の説明があり。

そのほか、**三宮常務理事**から、候補者二人の選挙で獲得投票数が同数であった場合はどうすべきか、理事会で決めておいていただきたいとの質問があり。**古川副理事長**から、同数になる可能性はかなり低いが、同数になった場合は速やかに臨時会合を開いて決定することはどうかとの提案があり。**鈴木理事**から、選挙結果が二人であれば二人を OEC に送ることも可能との説明があり。

（8）ウクライナ支援について

鈴木理事から、ライオンズクラブメンバー直接による人道支援のため、LCIF に寄付していただきたく、できれば地区がまとめて早急に寄付のお願いがあり。**福永常務理事から、**MD336 のガバナー協議会で出た質問について、ウクライナに渡す方

法、皆さんが避難している状態の中にお金の行き先がわからないなどが伝えられたところ、**鈴木理事**から、戦時下においても赤十字、人道支援、避難回路もでき、避難回路の逆で支援物資が入っていくので、支援は十分にできると思われるとの説明があり。

採決の結果、賛成多数決定　⇒【決定事項】すでに各地区、MD にオセアル事務局からメール配信されているが、総会にても【報告】、支援をお願いする。

《　ケンタッキー竜巻被害へのご支援に関するご報告　》

鈴木理事から、ケンタッキー被害支援に日本から約 5,000 万円が寄付された。
感謝の言葉や感謝状など州知事からないものか、レベッカ・ダウ LCIF 事務総長に打診しているとの経過報告があり。

（9）ＳＯＮ広島大会協賛金一覧表（2022 年 2 月末現在）

福永常務理事から、協賛金状況の報告があり。2022 年 2 月 28 日時点の協賛金の入金状況が確認され、各複合、各準地区において当委員会からは 3 月末までに入金のお願いがあり。
MD331 より前回大会の繰越金はすでに入金済。SON 事務局長から、このコロナ禍で 4 月 2 日の採火式に遠方から広島に入ることについて、本年度はすべて中止、MD336、336-C 地区ライオンズ関係者のみによってトーチランすべてを行うという決定のお知らせがあり。執行理事会でどのように縮小するのか現在話をさせていただき、返事を待っている状況。30 万ドルに関しては申請を出す方向で確認をしている。次の執行理事会までには報告する予定。

まだ周知されていないようなので、総会にて【報告】再確認の上協力する。

（１０）一般社団法人日本ライオンズとの各種提携一覧

菅原事務総長から説明があり。各種提携状況を確認、総会にて【報告】する。

７．そのほか、各委員会報告

①〈ライオン誌委員会〉古川副理事長報告

着々とライオン誌を発行、現在、3、4 月号を発行、山川副理事長から、アラートについての記事を掲載している。次の 5、6 月号は取材させていただくこともあるとのことでご協力をお願いする。

②〈アラート委員会〉山川副理事長報告

当初の懸案事項についてはほぼ解決をしてきている。特にアラートチームの役職に関しては、今一度国際協会発表のプロトコルの該当箇所を確認、それ以外のものは各複合の組織図の中に入れ込んでいただきたい。
アラート委員会は空白期間があってはいけないため、次年度早々に動ける体制を作っていくため、準備に取り掛かっていく。また、マニュアルをつくるべきではないかというガバナーからの意見があり、素案を作成している。現委員会のメンバーが中身を詰めており、今後のアラート委員会の活動指針を今期中に作り上げていく。災害協定は都道府県との締結は Must であり、

その他の自治体はなるべく多くの自治体と協定を結ぶ。

③〈会則委員会〉三宮常務理事報告

3 月 3 日に第 4 回の会則委員会を開催した。

- ✧ ライオンズ必携第 59 版の改正について、会議は構成員の過半数をもって定足数とし、決議は出席構成員の過半数をもって決するので、現在 2/3 に記載されているものを修正する。
- ✧ ライオネスプログラムについての記載を削除し、アラート委員会の部分を挿入した。今年度の複合年次大会に議案として挙げる。
- ✧ 国際理事候補者推薦選挙管理委員会の投票人に元国際理事会アポインティを加える件を議案に挙げる。

④〈ＹＣＥ委員会〉山本常務理事報告

ヨーロッパ全般の担当窓口であるＭＤ３３４（計 29 ヵ国）が担当している事務局員の来年の定年以後、ヨーロッパ窓口の均等割りほぼ 3 ヶ国ずつを各ＭＤにお願いし１MD を除き、ほぼ内諾を得ている。ＭＤ毎にＹＣＥ交換実務業務の事情が異なると思うが、協力して頂きたいとの説明があり。4 月 25 日に第 5 回委員会をウェブ開催、次年度以降の申し送りのとりまとめを行う予定。

山川副理事長から、他のMD からの意見のお尋ねがあり、何とか対応するとの返答をいただいているとの返答が山本常務理事からあり。山川副理事長から、代案があれば伺いたいとのことだった。

⑤〈国際大会委員会〉鶴嶋常務理事報告

オセアル調整事務局マーズ局長からの最新情報として、モントリオール国際大会の開催実施についてＬＣＩ大会部部長との話し合いの結果、近日中に日本の会員向けに最新案内予定であることが伝えられた。

今回の大会はリアル開催となる。パレードも予定に組み込まれている。

コロナ禍の中 3 月末には詳細は情報が出る見込み、日本からはワクチンを 3 回接種し、ETA のビザを取れば入れる。帰国時の隔離はなく帰宅できるとのおおよその情報にとどまっている。

MD331 としては各地区３０名の大会登録をお願いし、2 月末時点で 134 名の登録があり。

川島理事

大会 1 週間前の理事会、大会のリアル開催とすべてスケジュール通りの開催予定。開催場所はモントリオールのため、カナダ人、アメリカ人が主に大会に参加、投票も Web や Hybrid による投票は一切なく現地でのみとなる。詳細は 4 月末の国際理事会大会委員会後の発表となる予定。

一人でも多くの早期登録、また日本から国際理事が出るときなので一人でも多くの票をいれていただきたい。

福永常務理事から、第一副地区ガバナーの現地でのガバナーエレクトセミナーおよび国際大会参加についてお尋ねがあり。川島理事から、今後直接第一

副地区ガバナーへ連絡がある旨の返答があり。

⑥ **＜過去議事録について＞**鶴嶋常務理事報告

先日より各理事の皆さんまたいろいろな方々からキャビネット会議ができないという意見があった。本日の議事録もすぐに作成をして、すぐ回すようにするので、地区の皆さんには説明をお願いする。

これまで議事録が遅れたことに対してお詫びを申し上げる。

１６：１０、仁科議長により閉会。

以上

２０２２（令和４）年３月１０日

議事録署名人

代表理事　仁　科　良　三　　【押印省略】

監事　　竹　下　直　義　　【押印省略】

監事　　福　田　惠　太　　【押印省略】

2021-2022 年度一般社団法人日本ライオンズ

第 3 回全国ガバナー会（社員総会）議事録

日　　時：2022 年 3 月 23 日（水）13：30～15：00
会　　場：WEB 及び日本ライオンズ事務局
出 席 者：別紙参照
議事録作成人：MD331 鶴嶋浩二常務理事　　MD336 福永栄一常務理事
議事録署名人：331-C 地区須藤敏幸ガバナー　　332-A 地区田名部智之ガバナー

＜開会＞

松岡勲副理事長・専務理事代理

一般社団法人日本ライオンズ 2021-2022 年度第 3 回ガバナー会(社員総会)を開会します。出席正社員 59 名中 59 名。内、委任状及び議決権行使書による出席 5 名。※定款第 17 条により総正社員過半数の出席をもって本社員総会は成立、定款第 18 条により決議は出席総正社員の過半数をもって決することといたします。それでは、定款第 16 条に基づき、議長には仁科理事長にご就任いただきます。皆様には第 2 回社員総会並びに前回までの理事会の議事録等を既に配信しておりますので、議事録についてはご確認いただいていると解釈させていただきます。

本日の総会には大変お忙しい中、山田實紘元国際会長にご出席をいただいておりますのでご挨拶を頂戴いたします。

＜挨拶＞

山田實紘 LCIF 理事（元国際会長）

今日は皆さんお忙しい所全国ガバナー会にお集まりいただきありがとうございます。
今、ライオンズは非常に大変な忙しい時期に入っており、我々は二つの問題に取り組まなければいけないと思っております。

先ず一つは国際理事候補者の選出ですが、オセアル地域の様々な事情で空席になった国際理事候補者の枠を日本に戴き、皆さんが議論を重ね現在お二人が立候補されまして近々選挙で選出されるという事です。その方は次に OEC（Oseal ExecutiveCommittee）で面接して OSEAL の代表に決定するかどうか決めていきます。既にほかの国の方との面接を行われており、特にマレーシアは素晴らしい人ばかり 6 名が立候補し、甲乙つけ難い中で絞り込みをしました。後は日本を残すのみです。これは他人事ではなく、日本のライオンズの代表、OSEAL の代表であるということをしっかり考え、良い方を選んでください。その次に OEC で面接をしながら議長として最終的に私の方で決めていきたいと思っております。

二つ目はウクライナの件です。ともすると第三次世界大戦になるのではないかと危惧されている中、ウクライナからの情報は惨憺たるものです。既にヨーロッパではライオンズが先頭に立ち寄付を集めておりますが、当然のことながら全世界で集めようと本部が動いております。皆さんからのキャンペーン 100 への献金も既にウクライナの難民支援に使われています。今こそ日本のライオンズの底力で人道支援として今最も大切なアクティビティ

※ 本会議では審議事項なしを事前告知済のため、委任状及び議決権行使の提出は求められませんでした。

と考え一層のご協力をお願い致します。
本来ならば皆さんと面談したいところですが、オミクロンは昨年とは違った形で 2 倍、3 倍の感染力で、無症状のキャリアになった人を通じうつされた高齢者が非常に重篤になっているという今までにない臨床の状況です。もうしばらく我慢しながら頑張っていただきたい。

松岡勲副理事長・専務理事代理
オブザーバーのご紹介と出席者名簿の訂正

＜挨拶＞
仁科良三理事長
コロナ感染者数は昨日の数字で 20,231 人と下火にはなりましたが、ここ一ヶ月近く 5 万人から下らなかったのは、「もうコロナは重症化しない、死亡率も低い」という心理学でいう所のステレオ効果だったと思います。我々ライオンズは個人の責任「罹らない。うつさない。」団体としての責任「クラスターを作らない。組織・家庭・社会を守る。」を果たしていこうという事で今日まで進んで参りました。命最優先あってこそのライオンズクラブだと思います。
感染対策をしながらの活動ですが、今日は 3 回目の総会ということで、かなりの報告事項が有ります。モントリオール国際大会も含め、年度最後のダッシュをかける所ですので皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

＜議事録作成人・議事録署名人氏名＞
仁科良三理事長より、下記の通り指名した。
議事録作成人：MD331 鶴嶋浩二常務理事 MD336 福永栄一常務理事
議事録署名人：331-C 地区須藤敏幸ガバナー332-A 地区田名部智之ガバナー

＜議事運営ルールの説明＞
仁科良三理事長
議事の秩序を保つため指名を受けた方は地区名と氏名を仰ってからご発言ください。一議題について概ね 3 分と考えておりますので宜しくお願いいたします。

＜報告事項＞
１．次年度理事会構成について（資料 A）山川洋副理事長
執行理事の中から、理事長は次年度も理事会構成員に残った方が空白の時間を無くし、新年度のスタートが早く切れるという意見が出ました。後ほど菅原事務総長に補足説明を戴きますが、特に事務的な事柄が大きな問題となりましたので、前回の理事会に提案し承認をいただきました。

補足説明：菅原雅雄事務総長
事務サイドから申し上げます。今年度 8 月 2 日に総会が開催され、22 名の理事と 4 名の監事が決定しましたが、理事長が交代したことによりあらためて登記のために議事録に全員の実印の捺印が必要となりましたが、コロナ禍で集合会議が行われず、26 名全員にレタ

ーパックのやり取りを行い、実際に登記が出来たのが 10 月末でした。その間 9 月に登記謄本が必要となりましたが、実態に則していないという事を相手方から指摘される始末でした。理事長が残ることによりその方の実印で議事録が生き、早期に登録ができるのです。

また、法人化されたことにより、官公庁との提携が多くなっております。内閣府、文化庁，厚労省、警視庁、各社会法人などです。その渉外にも謄本が必要になりますが旧役員名の謄本を使うという状況は非常に支障をきたしております。是非、理事長には理事会構成員に残っていただき空白期間が出来ないようにお願い申し上げたい。

松岡勲副理事長・専務理事代理

資料 A の 1 枚目、下から 3 行を全て削除するようお願いした。

２．法人関連会議（総会・理事会・執行理事会）旅費支給廃止について（資料 B）
山川洋副理事長

交通費に関しては我々奉仕団体・ボランティアは全て自費で賄うのが当然で、会員の皆さんから支払われている会費は全て奉仕に使われるべきと考えます。当然不公平感がありますが、執行理事会、理事会、総会については日本全国を巡回して開催することによりその不公平感は薄らぐのでは。これがきっかけとなり MD、地区、クラブの旅費の撤廃に繋がればよいと考えます。理事会で承認いただきましたので日本ライオンズとしては 3 月 10 日以降、旅費の負担はございません。

３．補正予算について（資料 C）鶴嶋浩二常務理事

今年度初めて法人部門とライオン誌部門の会計が一本化されました。法人部門の職員補充と継続雇用の人件費が含まれておりませんでしたので 300 万円の予算補正をいたしました。

４．アラート委員会と全国社会福祉協議会との提携について　山川洋副理事長

日本ライオンズといたしましては、都道府県に関しましては提携が進んでおりますが、少なくても都道府県との提携はマストと考えております。更に全国の社会福祉協議会から前向きに協定締結を進めて貰うようお願いの文書を出していただきます。

５．国際理事候補者推薦選挙管理委員会の投票人に元国際理事アポインティを含めることについて（資料 D）三宮秀介常務理事・会則委員長・国際理事候補者選挙管理委員長

ライオンズ必携 59 版 P170-P171 第 16 条「投票人」に国際協会公認プロトコールに従い現元国際理事会アポインティ並びに現元 LCIF 国際理事を加えることが理事会で承認されました。今回その対象になるのは元国際理事会アポインティが 2 名、鈴木 LCIF 国際理事は現在日本ライオンズ理事会構成員として投票人になられていますので 2 名増で投票人は合計 150 名となりました。

６．日本ライオンズ 70 周年記念事業について（資料 E）仁科良三理事長

1952 年にフィリピン・マニラ LC のスポンサーによる東京 LC がチャーターされ 70 周年となりましたので何か記念事業をとアクティビティを中心に考え、全国で 1 万台の車いすの寄贈を執行理事会案として提案いたしました。会員ひとり 1,000 円か 2,000 円の負担でイ

ンパクトのある事業ができますが、理事会の慎重なご意見をいただき、仕切りなおすことになりました。あらためて準地区、複合地区、失効理事会、理事会、総会の手順で進めていきたいと思います。提案の経緯をご報告いたしました。

7. ウクライナ支援について（資料 F）鈴木誓男 LCIF 国際理事

ウクライナとロシア、国同士の戦争だという方もおります。しかしながら被害を被ったロシアの市民も避難しており、ウクライナから 300 万人が隣国ポーランドに避難しています。荷物も何もなしで子供を抱きかかえ避難先のポーランドで迎えていただくのですが、テントも医薬品も生活必需品も何もないという映像を見るにつけ我々奉仕団体として手を差し伸べてはいかがかと、日本においては一人 1,000 円以上のご協力をお願いしました。特に今ウクライナ、ポーランドは真冬であり、一早くこの支援を届けるために地区でまとめていただければありがたい。また、日本にもウクライナから大勢避難しており、子供たちはこの春から例えば小学校入学が許可されていくようですが、ランドセル、勉強道具が必要になります。社会福祉協議会とのパートナーシップで日本国内でも対応していく必要性があることを申し伝えます。

９．上半期会計報告（資料 H）鶴嶋浩二常務理事

2022 年 20 月 18 日に吉田会計顧問立会いの下各会計監査委員の皆様に監査をいただき、会計報告は監査の結果適正に処理されていると認めていただいております。

10.ＳＯＮ広島大会協賛金入金状況（資料Ｉ）福永栄一常務理事

集計には前回北海道大会における余剰金も含まれております。4 月 2 日に採火式、分火式が開催されることになっておりますが、本来ならば山田元国際会長、鈴木 LCIF 国際理事にご案内する所ですがコロナ禍のため規模を縮小し、広島の中だけで行います。SO 実行委員会から SO の内容を動画で戴きましたので日本ライオンズから 8 複合に送られましたら準地区への配信をお願いいたします。

松岡勲副理事長・専務理事代理

地区ガバナーへ質問・意見を求める。

335-Ｄ地区橋崎良治ガバナー

70 周年記念事業の車いすの寄贈には反対を申し上げたいと思います。日本ライオンズから要請のありました広島のＳＯＮ、ウクライナ支援と寄付が続いております中で更なる寄付は少し時間をいただきたい。また、一般的な車いすでは不都合が生じるなど、車いすは使われる方によってそれぞれ違う性能を必要とすると理解しております。日本ライオンズ一丸となって実行する中では、寄付せざるを得ない状況より寄付をしたいという状況になるようもう一度お考えいただくことを提案いたします。

10 分間の休憩の後 14：43 再開ここで、報告事項 8 に戻る

８．ケンタッキー竜巻被害への支援に関して(資料 G)鈴木誓男 LCIF 国際理事

ケンタッキーの竜巻被害に対しまして皆様にご支援をお願いしたところ、日本円で 5 千

万円強のご支援寄付を戴きました。我々は支援に対するお礼を言ってもらうのが目的ではありませんが、只今オセアル調整事務局を通じてケンタッキー州の何方かからでも受け取りましたというようなメール等を戴きたいとお願いしているところです。東日本、熊本、北海道等で地震がありましたが、自分の地区が災害に見舞われずに平穏でいられることに感謝して日本、世界で困っているところが有れば助けてあげたいというのが私の気持ちです。ここをもって感謝をお伝え申し上げます。

11.各委員会報告

(1)古川隆常務理事

ライオン誌委員会：ライオン誌につきましては予定通り発行されております。3・4 月号は 2 月 20 日発行、5・6 月号は 4 月 20 日発行予定です。5・6 月号にはモントリオール国際大会について少し入れたいと考えておりますのでお手元に届きましたらご覧ください。

(2)山川洋常務理事

3 月 16 日、MD331 から 333 にかけて最大震度 6 強の地震が起きました。331、333 に関してはそれほど大きな被害が無く、332 特に山形、宮城、福島、この地域にかなりインフラを含め大きな被害が有りました。家レベルでいうと特に福島県南相馬地域は建物の崩壊や瓦の落下の被害がありました。坂本統括エリアリーダーからの連絡で 332-D 相馬 LC、新地 LC の両方からブルーシート、土嚢袋、ロープなどの支援要請が 17 日の正午にあり、その日の午後 7 時に全てをお届けすることが出来ました。橋本統括リーダーしかり、山下班長、木村班長そして木川田委員の皆さんが自分たちの手で物資を届けてくださったお陰です。費用に関しては 332-D、MD332、日本ライオンズで話し合って負担することになります。今期は被災地から直接の支援要請が無い限り動かないという姿勢を貫き、支援要請にはスピード感を持ってしっかり対応できました。前回 331-B 地区ガバナーからアラートマニュアルの作成の要望があり、現在素案が出来ております。その中には災害レベルの判定今回はレベル 2＝準地区と MD で処理できる範囲と判定しましたが、今後は被災地災害本部を立ち上げ、窓口とすることなどもマニュアルに入れて皆様に提案していきたいと思います。

(3)三宮秀介常務理事

今期、既に 4 回の会則委員会を開催いたしました。今後はライオンズ必携第 60 版を次年度直ぐに発行できるように改訂版の編集に取り掛かります。また、複合地区会則の改正が二つあります。ガバナー協議会定例会議の定足数の変更とライオネス委員会の削除と同時にアラート委員会の記載です。各複合地区年次大会に間に合うよう早急に改正案を提出いたします。

国際理事候補者選挙管理委員会といたしましては、お二人の立候補者より推薦要望書が提出され、3 月 18 日資格審査の結果、そのお二人の選挙を行うため投票人 150 名に対し候補者の履歴、所信表明などと投票用紙を発送いたしました。投票は 3 月 25 日の消印有効、開票日 3 月 29 日の 13 時 30 分までに日本ライオンズ事務所に届いたものを有効といたします。

(4)山本基博常務理事

年度当初の段階で夏冬の派遣・受け入れの中止を決定させていただき、その間従来から懸

案になっていた議案について、3 月 4 日の第 4 回委員会まで議論を続けました。交換相手国との契約については全日本ライオンズ定型版として注意事項などを含め整理いたしました。

また、MD334 がヨーロッパ 29 ヶ国を担当しておりましたが、事務局等の状況の変化で各複合地区に 3 ヶ国ずつを担当いただき、残りの 8 ヶ国を 334 で担当することでご承認を戴きました。あと 2 回の委員会で次期への申し送り事項の整理をして参ります。

(5)鶴嶋浩二常務理事

昨日 13:30 より国際大会委員会を開催いたしました。4 月からはカナダへの入国の際の PCR 検査が不要になり、電子渡航認証 eTA、ワクチン証明の用意と、arriveCAN のアカウントの作成などが必要です。日本への帰国の際もワクチン 3 回接種の証明により隔離無しで公共交通機関の使用で帰宅が可能です。

昨日、国際理事会がありましたが、永田国際理事より日本の参加人数としては、一地区 30 名、日本全体で 1,000 人をお願いします。取り敢えず宿泊用の部屋の確保をオセアル調整事務局にお願いしていますので、4 月 15 日頃までに各地区の実質の参加人数をお知らせいただき、不要な部屋を開放いたします。また、詳細が分かり次第配信いたしますが、私もガバナー就任の際の世界大会がありませんでした。是非、お誘い合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

川島正行国際理事

昨夜ウェブで国際理事会の大会委員会が行われました。勿論、永田国際理事もご出席されましたが、私の方からお話させていただきます。ムーア担当委員長からはどんどん入国規制が緩んで欲しいということで、登録目標は 25,000 人、現在早期登録者は 8,537 名。日本の登録数は聞くことが出来ませんでした。協会では日本に割り当てられたホテル 2 か所で PCR 検査が出来ないか検討中です。また旅行会社がキャンセルのリスクが有るという事で世界的にどこも消極的になっている事を協会は一番気にしています。是非皆さんに協力いただいて旅行会社にも力を入れていただきたいところです。また、カナダではサービスの人手不足が不安材料になっています。コロナ禍の初めての大きな集会であり、ホテル、レストランの人不足が決定的です。そのような時は皆さんに寛容の精神をもちましてご協力いただき楽しい大会にしていきましょう。バーチャル 35 ドルと登録料が決定しましたが、ウェブでの配信は指名委員会・ビジネスセッション・総会の三つだけで、そのほかは終了後のオンデマンドで視聴できますが、昨年のバーチャル大会のようには参りません。まだ不明な点がありますが、協会からは皆さんが早めに登録をしてくださるよう要望しております。

(6)その他

再開発事業について

城阪勝喜ライオンズビジョン 2025 委員長・元国際理事会アポインティ

JOTO ビルが八重洲の再開発事業の区域に入り、来年 4 月までに立ち退きの申し入れがありました。その後この大きな土地、八重洲駅前に地下 3 階地上 43 階の日本でも有数のビルが建設される予定です。この間、八重洲二丁目中地区再開発準備組合が正式に発足し、過去 3 回打ち合わせをいたしました。私どもとの希望としてはそのビルに今の広さ程度で今の家賃程度で入居をお願い出来ないか申し入れましたが、私どもの倍以上の家賃を想定しており、難しいということです。但し、借家権を認めていただいて転居に関わる諸費用、ま

た違うビルで幾分かの家賃の保証を戴けるということで、この後、八重洲の組合の方と理事でご相談をさせていただきます。皆さんに納得いただける事務所を探し来年 4 月転居の方向で考えています。仔細が決まり次第、皆さんに決済を仰ぐ予定ですので宜しくお願いいたします。

渡部雅文国際理事

私が所属しているリーダーシップ委員会は毎月のように会議が行われています。4・5・6月に次期議長のためのウェブ・セミナーが開かれますので、次期議長になられる方は必ずセミナーを受講して下さいますようお願いいたします。

松岡勲副理事長・専務理事代理

以上をもちましてご質問、確認事項が終了いたしました。
この後、今年度執行理事の皆様には先程から議論のありました国際大会について話し合いを致したくウェブ参加の方もそのままお残りください。

それでは仁科理事長から閉会の言葉をお願いいたします。

＜閉会＞

仁科良三理事長

皆さんありがとうございました。皆さんのご協力で第 3 回総会がスムーズに行われましたことに感謝申し上げます。是非みなさんでモントリオール大会に参加いたしましょう。

議事録作成人
鶴嶋浩二　常務理事（MD331 議長）
福永栄一　常務理事（MD336 議長）

2022 年 3 月 23 日

議事録署名人

議長・代表理事　　仁科　良三【押印省略】

331-C 地区ガバナー　須藤　敏幸【押印省略】

332-A 地区ガバナー 田名部　智之【押印省略】

2022 年 3 月 23 日(木)　13：30-16：00

WEB（Zoom）

出席者リスト

2022 年 3 月 23 日午前 10 時現在

2021-22 年度正社員【地区ガバナー】　＊議長兼任　○議決権行使書提出

330-A 地区ガバナー　中　井　正　力　WEB
330-B 地区ガバナー　亀　井　真　司　WEB
330-C 地区ガバナー　藤　井　栄　一　WEB
331-A 地区ガバナー　鶴　嶋　浩　二＊対面
331-B 地区ガバナー　高　井　信　夫　WEB
331-C 地区ガバナー　須　藤　敏　幸　WEB
332-A 地区ガバナー　田名部　智　之　WEB
332-B 地区ガバナー　村　上　　孝　　WEB
332-C 地区ガバナー　加　藤　俊　治　WEB
332-D 地区ガバナー　荒　川　友　成　WEB
332-E 地区ガバナー　佐　野　宏　美　WEB
332-F 地区ガバナー　藤　谷　文　雄　WEB
333-A 地区ガバナー　中　田　泰　範　WEB
333-B 地区ガバナー　水　沼　孝　夫　WEB
333-C 地区ガバナー　藤　原　宏　髙　WEB
333-D 地区ガバナー　矢　内　久　男　WEB
333-E 地区ガバナー　岡　野　良　男　WEB
334-A 地区ガバナー　大　山　恭　範　WEB
334-B 地区ガバナー　岡　田　　清　　WEB
334-C 地区ガバナー　藤　井　嗣　也【欠席】
334-D 地区ガバナー　三　井　適　夫　WEB
334-E 地区ガバナー　増　澤　義　治　WEB
335-A 地区ガバナー　畑　山　裕　子　WEB
335-B 地区ガバナー　正　岡　　章　【欠席】
335-C 地区ガバナー　佐々木　由美子　WEB
335-D 地区ガバナー　橋　崎　良　治　WEB
336-A 地区ガバナー　蔵　本　守　雄【欠席】
336-B 地区ガバナー　平　山　智　雄　WEB
336-C 地区ガバナー　三　島　英　揮　WEB
336-D 地区ガバナー　大　野　美　雄　WEB
337-A 地区ガバナー　古　川　　隆＊　対面
337-B 地区ガバナー　佐　藤　哲　章　WEB
337-C 地区ガバナー　久　田　裕　己　WEB
337-D 地区ガバナー　金　沢　幸　一【欠席】
337-E 地区ガバナー　宮　川　貞　雄　WEB

2021-22 年度正社員【理事会理事】

（2021-22 年度）

MD330 議長　村　木　秀　之　対面
MD331 議長　鶴　嶋　浩　二　対面
MD332 議長　下　間　俊　悦　WEB
MD333 議長　山　川　　洋　　対面
MD334 議長　山　本　基　博　WEB
MD335 議長　三　宮　秀　介　WEB
MD336 議長　福　永　栄　一　WEB
MD337 議長　古　川　　隆　　対面

（2020-21 年度）

MD330 議長　森川　明治郎　【欠席】
MD331 議長　中　谷　宣　巨　WEB
MD332 議長　伊　藤　明　彦　WEB
MD333 議長　石　橋　　貞　　WEB
MD334 議長　仁　科　良　三　対面
MD335 議長　松　岡　　勲　　対面
MD336 議長　岡　村　聖　爾　WEB
MD337 議長　森　口　孝　之　WEB
2019-22 国際理事　川　島　正　行 WEB
2019-22 国際理事　渡　部　雅　文　WEB
2021-23 国際理事　藏　　大　介　WEB
2021-23 国際理事　永　田　賢　司　WEB
2021-22 LCIF 理事　鈴　木　誓　男　WEB
2016-17 国際会長/
2021-22 LCIF 理事　山　田　實　紘　WEB

2021-22 年度正社員【監　事】

2020-22 監　事　(MD332 元議長)　竹　下　直　義 WEB
2020-22 監　事　(MD333 元議長)　髙　橋　克　文 WEB
2020-22 監　事　(MD335 元議長)　福　田　惠　太 WEB
2020-22 監　事　(MD337 元議長)　吉　見　章　一 WEB

正社員総数 59 名（出席 54 名・欠席 5 名）

別紙１/2

【正社員】　第3回全国ガバナー会出席者数　内訳：

	出席	欠席*	小計	
ＤＧ	29	4	33	(*DG 35名中、2名議長兼任)
理事	21	1	22	
監事	4	0	4	
	54	5	59（名）	

<u>オブザーバー</u>

一般財団法人日本ライオンズ理事長/
元国際理事　不 老　安 正【欠席】

日本ライオンズ大学校（JLU）　学長　/
日本ライオンズビジョン2025委員会　委員長　城 阪　勝 喜 対面

ＧＡＴ日本全域リーダー　/　元国際理事　中 村　泰 久 WEB

GATエリアリーダー　識 名　安 信 WEB

GATエリアリーダー　長澤　千鶴子【欠席】

2021-22ライオン誌日本語版委員会委員長　団　英 男 WEB

同　編集長　星 野 勝 美【欠席】

OSEAL調整事務局事務局長　マーズ　佐子 WEB

法律顧問　池 田 和 司　対面

会計顧問　吉 田 宗一郎　WEB

事務総長　菅 原 雅 雄　対面

別紙2/2

一般社団法人　日本ライオンズ　第 5 回理事会議事要録

開催日時: 2022 年 4 月 27 日（水）13:30～16:00

場所:WEB（ZOOM）

1. 本日の出席者確認

理事長　仁科良三
副理事長　山川洋、古川隆、松岡勲
専務理事　村木秀之
常務理事　鶴嶋浩二、下間俊悦、山本基博、三宮秀介、福永栄一
理　事　森川明治郎（欠席）、中谷宜巨、伊藤明彦、石橋貞、岡村聖爾、森口孝行、
川島正行、渡部雅文（欠席）、藏大介（欠席）、永田賢司、山田實紘、鈴木誓男
監　事　竹下直義、髙橋克文（欠席）、福田惠太、吉見章一
理事総数　22 名の内 19 名出席、監事総数 4 名の内 3 名出席、理事会の定足数充足。
オブザーバー　4 名の出席。
ライオン誌委員長　団英男
池田和司法律顧問、吉田宗一郎会計顧問、菅原雅雄事務総長

2. 議事録作成人及び議事録署名人の指名

議事録作成人　三宮秀介常務理事、下間俊悦常務理事
議事録署名人　理事長、本日出席の全監事

3. LCIF 国際理事の挨拶

挨拶とウクライナ支援について状況報告（ハワイより）

4. 開会宣言

村木専務理事は、議事運営に関する諸留意事項を説明の上、理事、監事、オブザーバーの出席を確認し定多数を満たしているので理事会成立報告の後、開会の宣言により会議開催。

5. 理事長の挨拶

コロナの現状や国際大会について、またウクライナの現状などライオンズクラブが世界平和の一助になれればなどの挨拶。

6. 前回理事会の確認

（1）70 周年記念事業について
継続審議。特別委員会などにより詳細を詰めていく。
（2）次年度の理事会構成について
次年度の理事会に前理事長を含めることとする。
（3）会議費、会議旅費について
各種委員会出席も含め理事の旅費の支給を廃止とする。
（4）補正予算、事務局体制について
報告の上、承認済み。
（5）アラート委員会と社会福祉協議会の提携について
各地区での提携をしているところもあるが、県単位での提携も推奨する。

7.審議事項

松岡副理事長より議案説明

① 年度理事会・執行理事会構成案について

(1) 山田元国際会長を名誉理事長にしてはどうか?

(2) 一般財団日本ライオンズ並びに日本ライオンズ大学校より社団からの要請として 1 名の理事の要請をしてはどうか? 任期は 2 年としてはどうか?

(3) GAT 日本全域リーダー関係の 5 名を参与としてはどうか?

賛成多数で承認

8.報告事項

①日本ライオンズ 70 周年記念事業実施について

仁科理事長より、来年度の理事とも審議したうえで継続審議とする旨の報告。

②次年度の予算案について

鶴嶋常務理事より説明。頒布品収入でライオン必携の発行で 1700 万の予算計上している。収入の部も会員数 79000 人を維持した場合の予算案である。いずれにしても次年度の執行理事の皆さんも含め協議していく。

③ライオン誌発行回数について

古川副理事長より説明。ライオン誌の発行を 6 回、4 回は発送、2 回は PDF で配布とする。

④モントリオール国際大会への参加について

鶴嶋常務理事より、現在の国際大会登録数の説明。パレードのユニホームは赤ポロシャツ。赤いキャップ、白いスラックスかスカート白いスニーカーでお願いしたい。コロナの時節柄もあるが多くの方の参加をお願いしたい。

⑤MD 会則改正案について

三宮会則委員長より、会則の改正が 3 か所あり、複合での決議をお願いしたい。

⑥国際理事候補者推薦選挙管理委員会

三宮推薦選挙管理委員長より、開票結果について報告。

⑦LCI CA5 バーチャル国際会長交換会について

菅原事務総長より、アレキサンダー国際会長から 4 月 13 日現ガバナーに対するメッセージが配信されました。一般の方もご覧になっていただきたいとの報告。

⑧ウクライナ支援について

村木専務理事より、先ほど鈴木理事からお話があったとおり、多くの方に声掛けをお願いしたい。

⑨SON 広島大会委員会

福永常務理事より、SON 広島大会の PR 動画と現在の各地区の協賛金の入金状況の報告。本日、東京レガシーハーフマラソン 2022 年の寄付、チャリティーランナーの募集案内が届いたとの報告。開催地が東京のため、330 で取り纏めて連絡頂きたい。鈴木 LCIF 国際理事より 30 万ドルに対しての承認を受けたとの報告。

⑩準地区の公式 LINE 活用について

古川副理事長より、公式 LINE の活用並びに有効性についての説明。

9. 審議事項①の執行理事会構成案について追加事項

村木専務理事より、日本ライオンズの各委員長を 2 年理事が担当したらどうか?

反対意見なし

仁科理事長より
今後、次期議長、次期執行理事を含め事前協議をして理事会、社員総会に臨みたい。
今後の日程の確認。

以上

2022（令和 4）年 4 月 27 日

議事録署名人

代表理事　　仁科　良三 【押印省略】

監　　事　　竹下　直義 【押印省略】

監　　事　　福田　惠太 【押印省略】

監　　事　　吉見　章一 【押印省略】

一般社団法人　日本ライオンズ

第 8 回執行理事会　議事要録　内部配信用

日時:2022 年 5 月 25 日(水)　14:00~17:45
場所:プレミアホテル中之島札幌(札幌市)
(1)参加者

理事長	仁科良三
副理事長	山川　洋・古川　隆・松岡　勲
専務理事	村木秀之
常務理事	鶴嶋浩二・下間俊悦・山本基博・三宮秀介(ZOOM)・福永栄一
LCIF 国際理事	鈴木誓夫(ZOOM)
会計顧問	吉田宗一郎(ZOOM)
事務総長	菅原雅雄

(2)議事録作成

下間俊悦常務理事・山本基博常務理事

(3)理事長挨拶(仁科良三理事長)

- 本日の執行理事会は鶴嶋常務理事のお世話になって、初めての移動開催にて札幌での開催となりました。
- 我々の任期も残り一か月ほどになりました。次期に向けての準備をしっかりやっていく。

(4)議題

1. 協議事項

① 6 つの提案事項について

定款変更案に関しては三宮常務理事、松岡常務理事、池田法律顧問の三名で協議して提案した。資料 A について説明し、各提案事項に関して定款変更あるいは内規変更の有無を説明。別紙 1 並びに別紙 2 の「前国際会長」の表記は「前・元国際会長」にすべきとの指摘があり修正する。

② 次期シーハン国際会長公式訪問について

次期シーハン国際会長公式訪問に関して、参加者人数計 320 名を予定する。MD330.333.334.335 は各 50 名、MD331.332.336.337 は各 30 名の動員をお願いする。開催費用の負担を各 MD から 400 千円のご負担をお願いする。最終決算を組んで余剰金が発生した場合は、例年と同様に各 MD へ返金する。

③ 70 周年記念事業について

前回の執行理事会での協議の通り、「70 周年記念事業委員会」を立ち上げて事業の内容等を協議し、具体的にしていく。

④ モントリオール国際大会・最新参加情報

ジャパンナイトは開催しない。各 MD には世話人 1 名とパレード手伝い 3 名計 4 名の協力をお願いする。例年の国際大会より参加人数が少ないので、パレードへの参加を呼び掛けてほしい。詳細は今後国際大会委員会を開催し協議する。

⑤ ウクライナ支援について

鈴木誓夫 LCIF 国際理事から説明。5 月 5 日現在全世界から 500 万ドルを支援した。ウクライナのライオンズ会員は国外へ避難することなく、ライオンズ会員として国民の支援をしている。世界のライオンズ会員にはウクライナ国境まで支援物資を運んでほしい。そうすればウクライナ会員が必要としている人のところへ届けることができる。これからも引き続き様々な支援をお願いしたい。

キャンペーン 100 は間もなく終わります。目標 3 億ドルの中で約 6000 万ドルは日本からの寄付です。この 3 年間このキャンペーンに関わっていただいた、すべての皆さんに感謝します。日本人のお裾分けの精神で奉仕する。ライオンズクラブ力強い奉仕を続けるためにも、会員増強によってさらに力強く奉仕活動ができることを目指していただくことをお願いします。

⑥ アラート委員会の災害支援金拠出について(報告事項から協議事項に変更)

3 月 16 日に発生した福島県沖地震で 332-D 地区に集中して屋根瓦が損傷する被害が発生。翌日は雨の天気予報であり、緊急性を考えて日本ライオンズのアラート委員会東日本統括リーダーからの報告をもとに、急遽ブルーシート(494 枚)他を手配し、翌日には現地へ届けることができた。この支援に約 1,217 千円の拠出を認めてほしい。

現地のクラブ、準地区、MD での対応が困難であったため、翌日の天候を考慮して、緊急処置としてアラート委員会が対応した。今回の反省として様々な災害に対する対応方法を検討する。災害は様々な状況で発生するので、被害状況レベルを一律の方法で仕分けることは困難と考えられる。緊急性、被害状況ほかの状況を鑑みて、迅速な対応が必要な場合はそのように対応する。

アラート委員会の災害支援金拠出について、一般社団法人の会計から拠出することを賛成多数で承認した。

⑦ その他

追加参考資料に基づいて協議し 5 月 27 日の準備執行理事会にて提出する。次年度理事長候補として本年時執行理事会から村木秀之専務理事を推薦する発言を受け、全執行役員の賛同を得て村木秀之専務理事を次年度理事長に推薦する。正式には 7 月の第 1 回総会時に開催される新理事会にて互選で決定するこ

とになるが、本日の会議では村木秀之専務理事を中心に次年度の体制（案）を検討いただきたい。

1）組織図（案）

a. 各委員会の委員長は 2 年目理事が担当する。

B 前理事長の補佐役を山川副理事長・古川理事長にお願いする。

c. 執行理事会の構成人数を 1 名増やして合計 12 名に定款変更する。

2）理事会内担当委員会（案）

a. 総務・人事・管理委員会：　村木・山川・山本

b .財務・会計・資産管理：　鶴嶋・下間・福永

c. SON・渉外一般・PR マーケティング・デジタル化：福永・古川

d. 地区クラブサービス（GAT.LCIF）　下間・三宮

e. ビジョン 2025（事務移転準備）　城坂・村木

f. 外部との交渉全般　仁科・山川・村木

3）新年度執行理事会構成(案)

a. 副理事長　山川副理事長(留任)、古川副理事長(留任)
新年度議長から 1 名

b. 専務理事　山本基博常務理事

c. 常務理事　8 名以内と定款変更する。池田法律顧問に問いあわせする。

4）新年度各委員会担当（案）

a. SON 広島大会委員会は理事会内委員会へ移動し、新たに 70 周年事業委員会を設ける。

b.上記以外の委員会は委員会名の変更なし、委員長は留任とする。

2. 報告事項

① ライオン誌日本語版委員会

ライオン誌の発行回数は第 5 回理事会(4 月 27 日開催)で次年度は 4 回発送とし 2 回は PDF で配布すると決定した。この理事会決定に対して団委員長から 5 月 18 日付けの文章で理事長あてに次期申し送りとして 6 回発行を決定しているので、第 5 回理事会で決定した内容を白紙に戻してほしいとの依頼があった。

委員会は執行理事会からの諮問に対して検討し報告することとなっている。委員会の検討結果より執行理事会での判断と最終的に理事会での決定が優先する。従って、委員会には決定権は無い。

② アラート委員会

社団のアラート委員会と複合地区のアラート委員会の関係性を整理した。
それぞれの役職に就いた者へは両方の組織から任命権者名で委嘱状を発行する。
日本ライオンズアラート委員会は理事長名で、複合地区アラート委員会は議長名で発行する。

コーディネーターの任期 3 年については、順守して同じ人が長年役職を続けることにならないように運用していく。

③ SON 協賛金入金状況

全国からの協賛金は 5 月２０日現在、約 12,720 千円協力いただいた。LCIF からも 30 万ドルの拠出が決定している。キャンペーン用の T シャツとピンバッジを販売しているので、引き続き協力をお願いする。

大会終了時に余剰金が残った場合は次期開催地のために活用するため、日本ライオンズに特別会計として残したい。

④ SON レガシーマラソン 2022「追加募集」案内

チャリティランナー(SON に対して 10 万円以上寄付すること他の条件あり）の募集が 5 月 20 日に終了した。期間中の申し込みが思うように集まらず、現在追加募集をしている。

⑤ 会則委員会

各 MD の年次大会に議案を提出しています。ご承認いただきますようお願します。ライオンズ必携 59 版修正項目について。資料 1 ページ 3 行目の日本ライオンズ設立年を 2016 年に修正して説明する。①日本ライオンズの設立は国内の共通な事項について各種会議を持ち、融和協調のうちその進捗向上を図る・・・国際理事会方針書第１５章 D に抵触しないことを確認し追加する。②リジョン・ゾーンの編成についてはガバナー専権事項としてきたが、標準版地区会則第 5 条第 4 項 a にて「地区キャビネットの承認があり且つ・・・」と有るので、地区ガバナーの専権事項ではないことを表現した。

その他、第 1 及び第 2 副地区ガバナーの空席補充には、地区ガバナーとして前期または過半の期間務めたものは、補充候補にはなれないことを追記する。

必携の原稿が完成したら執行役員の皆さんにはお目通しいただきます。

3. 報告事項

今後の会議日程は 6 月 15 日 10:30 開会の第 9 回執行理事会を追加して報告

(5)本日の決定事項を松岡副理事長から報告

(6)閉会

以上

2021～2022 年度 336 複合地区ガバナーエレクト会議 議事録

日 時：2022 年 5 月 21 日（土）13：30～14：30
会 場：広島国際会議場 B1F「会議運営事務室」

出 欠

ガバナー協議会 議長	福永 栄一	○
ガバナー協議会 副議長（C 地区ガバナー）	三島 英揮	○
ガバナー協議会 副議長（D 地区ガバナー）	大野 美雄	○
ガバナー協議会 幹事 （A 地区ガバナー）	蔵本 守雄	○
ガバナー協議会 会計 （B 地区ガバナー）	平山 智雄	○
ガバナー協議会次期議長予定者	池原 堅	○
A 地区ガバナーエレクト	市村 通夫	○
B 地区ガバナーエレクト	西尾 愼一	○
C 地区ガバナーエレクト	弓場 秀俊	○
D 地区ガバナーエレクト	中島 繁	○
ガバナー協議会 事務局運営委員長	森田 安芸彦	○
ガバナー協議会 事務局運営委員（A 地区幹事）	長尾 和彦	欠
ガバナー協議会 事務局運営委員（B 地区幹事）	山田 隆嗣	○
ガバナー協議会 事務局運営委員（C 地区幹事）	髙東 信男	欠
ガバナー協議会 事務局運営委員（D 地区幹事）	山﨑 敏弘	欠
ガバナー協議会 次期事務局運営委員長予定者	水野 勝則	○
ガバナー協議会 次期事務局運営委員予定者（A 地区幹事予定者）	後藤田 邦裕	欠
ガバナー協議会 次期事務局運営委員予定者（B 地区幹事予定者）	池田 康利	○
ガバナー協議会 次期事務局運営委員予定者（C 地区幹事予定者）	吉井 秀幸	○
ガバナー協議会 次期事務局運営委員予定者（D 地区幹事予定者）	山﨑 勉	○

司会：ガバナー協議会 事務局運営委員長 森田 安芸彦

森田委員長より年次大会スケジュールについて概要説明があった。

開会あいさつ	
ガバナー協議会議長	福永 栄一

本日はこの後、リハーサル、前夜祭と慌ただしいがどうか明日の大会が無事終えられるよう
ご協力いただきたい。
モントリオール国際大会は 21 名の参加を確認（5/21 時点）
336 の夕べを開催、参加いただきたい。

6/16 伊丹市で開催される GST フォーラムには、ガバ協出席対象者以外に参加いただきたい。
B 地区からはクラブ会長他可能な方に 10 名は参加していただきたい。

協議事項 1

2022～2023 年度 336 複合地区組織について

①協議会議長選任について
②ガバナー協議会構成員の互選
議長 池原 堅 / 副議長 市村 通夫 / 副議長 西尾 愼一 / 幹事 中島 繁 / 会計 弓場 秀俊
③ガバナー協議会顧問 4 名の委嘱について
元国際理事 渡部 雅文 / 谷野 徹 / 藤井 基博 / 名越 勉
④次期組織表（案）について
⑤GAT Japan 全域リーダー中村泰久氏からの MD336 GAT コーディネーター推薦指名推薦について

2021-2022 年度複合地区組織表 ……P5
2022-2023 年度複合地区組織表（案）……当日資料

池原次期議長予定者より資料に基づいて説明があった。
GAT Japan 全域リーダー中村泰久氏からの GAT コーディネーター推薦指名について
次期、全域リーダーが変わる可能性がある為、今年度は 10 日程度遅れる模様

三島ガバナー
新設される長期計画委員会について、今後継続性の保てる委員会であるのか

ガバナーエレクト各位
C 地区で長期ビジョン委員会が設置されており、将来のありかたを
検討する委員会は必要であるとの話があった。経費については削減に努める。

福永議長
準地区が基本的に考えて頑張っていただく委員会ではないか？
今後の一般社団法人日本ライオンズ、一般財団法人日本ライオンズ会議については
交通費負担なし、会員をどう維持出来るかが重要

三島ガバナー
同一の方が長期に渡って同一の役職に就いていることについてはどうか。

池原次期議長
確かでそうではあるが来期はこの構成で進めたい。

福永議長
ガバナー退任後の役職就任 3 年ルールが崩壊している。次期さらに活性化させていただきたい。

次期組織表（案）について承認された。

次期議長は池原 堅 C 地区前ガバナーで正式に決定。
ガバナーエレクト各位にて次期議長決定通知書に署名、福永議長へ提出された。
一般社団法人日本ライオンズ監事を 336 複合地区から選任。 6 月 10 日までに決定。

協議事項 2
2022～2023 年度ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議について

①ガバナー協議会開催日程と開催地（会場）について

開催回	開催年月日	担当地区／開催市／会場名
第 1 回	**2022 年 8 月 25 日（木）**	**［B 地区］［岡山市］ホテルグランヴィア岡山**
第 2 回	**2022 年 10 月 27 日（木）**	**［A 地区］［吉野川市］セントラルホテル鴨島**
第 3 回	**2023 年 1 月 26 日（木）**	**［D 地区］［宇部市］ANA クラウンプラザホテル宇部**
第 4 回	**2023 年 3 月 23 日（木）24（金）**	**［C 地区］［福山市］福山ニューキャッスルホテル**
第 5 回	**2023 年 6 月 15 日（木）**	**［C 地区］［福山市］福山ニューキャッスルホテル**

※5 回目の会場は暫定、三原の可能性あり

※第 4 回は 1 日目にガバナー協議会と次期組織検討会、2 日目に次期五役研修会と連絡会議を開催。
※第 5 回（新旧引継ぎ会）開催の場合、出席対象者と開催形式についてガバナー協議会にて協議する。

②第 1 回～5 回複合地区役員連絡会議の出席対象者について
※下記記載は、議長、ガバナー、複合地区事務局運営委員会委員長・委員（各地区幹事）以外。

[2022～2023 年度(案)]　　REAL:対面　HB:ハイブリッド(REAL＋WEB)

役　職	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回
形　式	HB	HB	HB	HB	HB
顧問（元国際理事）	○	○	○	○	適宜
MD336 各委員会世話人	○	○	○	○	適宜
MD336 各委員会委員長／各コーディネーター	○	○	○	○	適宜
MD336 各委員会副委員長／各副コーディネーター	○	WEB	WEB	WEB	適宜
MD336 監査委員	○	○	○	○	適宜
第一副地区ガバナー※5 回目はガバナーエレクトとして	○	○	○	○	適宜

第二副地区ガバナー※5回目は次期第一副地区ガバナーとして	○	○	○	○	適宜
MD336 年次大会委員長	○	適宜	適宜	適宜	適宜
キャビネット会計				○	
準地区各委員会委員長／コーディネーター（担当）	○	適宜 WEB	適宜 WEB	適宜 WEB	適宜 WEB
次期 MD336 協議会議長予定者				○	適宜
次期第二副地区ガバナー候補者				○	適宜
次期 MD 事務局運営委員長予定者				○	
次期 MD 事務局運営委員（キャビネット幹事）予定者				○	
次期キャビネット会計予定者				○	
一般社団法人日本ライオンズ各委員会 MD336 担当委員・班長/副班長					
監事	○	○	○	○	適宜
監査委員	○	○	○	○	適宜
ライオン誌日本語版委員会委員	○	○	○	○	適宜
国際大会委員会委員	○	○	○	○	適宜
国際理事候補者推薦委員会委員	○	○	○	○	適宜
アラート委員会班長	○	○	○	○	適宜
アラート委員会副班長	○	WEB	WEB	WEB	適宜
一般財団法人日本ライオンズ理事会					
理事	○	適宜	適宜	適宜	適宜

③準地区各委員会委員長／コーディネーターの旅費費用負担は準地区へ依頼をする。
④懇親会登録料について
※例年 10,000 円を、総支給額：旅費（交通費＋宿泊費）＋夕食代との相殺で集金、総支給額を超えない方からは当日現金にて集金。個人名宛での領収証を当日お渡しする。

池原次期議長より資料に基づいて説明があった。
役員連絡会議は、出席対象者各位に REAL or WEB を選択していただく。

協議事項 3

2022-2023 年度複合地区運営費会計予算案について

336 複合地区運営費残高試算表（2022 年 4 月分） ……P6
2022-2023 年度 336 複合地区運営費会計予算書（案） ……P7

池原次期議長より資料に基づいて説明があった。
承認

協議事項 4

複合地区費・複合地区大会費 振込銀行口座について

※例年 7 月 1 日付で口座名義となる会計名を変更
ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区 会計 平山 智雄 ⇒ 弓場 秀俊

・複合地区ガバナー協議会事務局取引銀行 ……P8

資料確認

協議事項 5

複合地区各種規定（現行）の確認

・旅費規程 ……P9
・慶弔規程 ……P10
・緊急援助資金規定 ……P11
・委員会運営内規 ……P12
・事務局運営委員会規定 ……P13
・事務局規定 ……P14
・事務局就業規則 ……P15～18

・事務局給与規則……P19～20

各自確認、割愛

協議事項 6
次年度各大会について

[次年度予定]

・第 69 回複合地区年次大会
開催日：記念ゴルフ/前夜祭 2023 年 5 月 13 日(土) 分科会/総会/式典 5 月 14 日(日)
開催地：福山市 会場：エフピコアリーナ福山（福山市総合体育館）
前夜祭会場：福山ニューキャッスルホテル
ホストクラブ：336-C 地区 1R1Z・1R2Z・1R3Z の 21 クラブ
大会委員長予定者：元地区ガバナー 髙田 健司（福山葦陽 LC）

池原次期議長より説明があった。（ガバナー協議会内で再度確認後承認、年次大会報告へ）

・第 59 回東洋・東南アジア（OSEAL）フォーラム ※現地対面による通常開催
【4/15 OSEAL 調整事務局マーズ局長からの通達】

韓国（複合地区 354）済州島
本部ホテル：ロッテホテル済州 https://www.lottehotel.com/jeju-hotel/en.html
日程: 2022 年 11 月 27 日から 30 日
以前に告知されておりました日程から変更されていますのでご注意ください。
国際協会のウェブサイト等は追って更新されます。

・第 59 回オセアルフォーラムステアリング委員会会議（現地対面による開催）

会場：ロッテホテル済州
日程: 2022 年 8 月 23-25 日
招へいによる参加者のみ。対象のステアリング委員会の委員には追ってフォーラム組織委員会より招待通知が発送されます。

チョイ元国際会長が現地フォーラム組織委員会と確認された結果、開催国韓国での新型コロナ感染症対策としての水際政策の緩和が進み、他のオセアル所属の国と地域でも同様の対応が予測されることから、本年度 2022 年のオセアルフォーラムは対面で行うこととし、以下の通り日程を確定いたしました。

・第 105 回国際大会
開催日：2023 年 7 月 7 日～7 月 11 日 予定
開催地：ボストン（アメリカ・マサチューセッツ州）

福永議長より説明があった。

その他

特になし

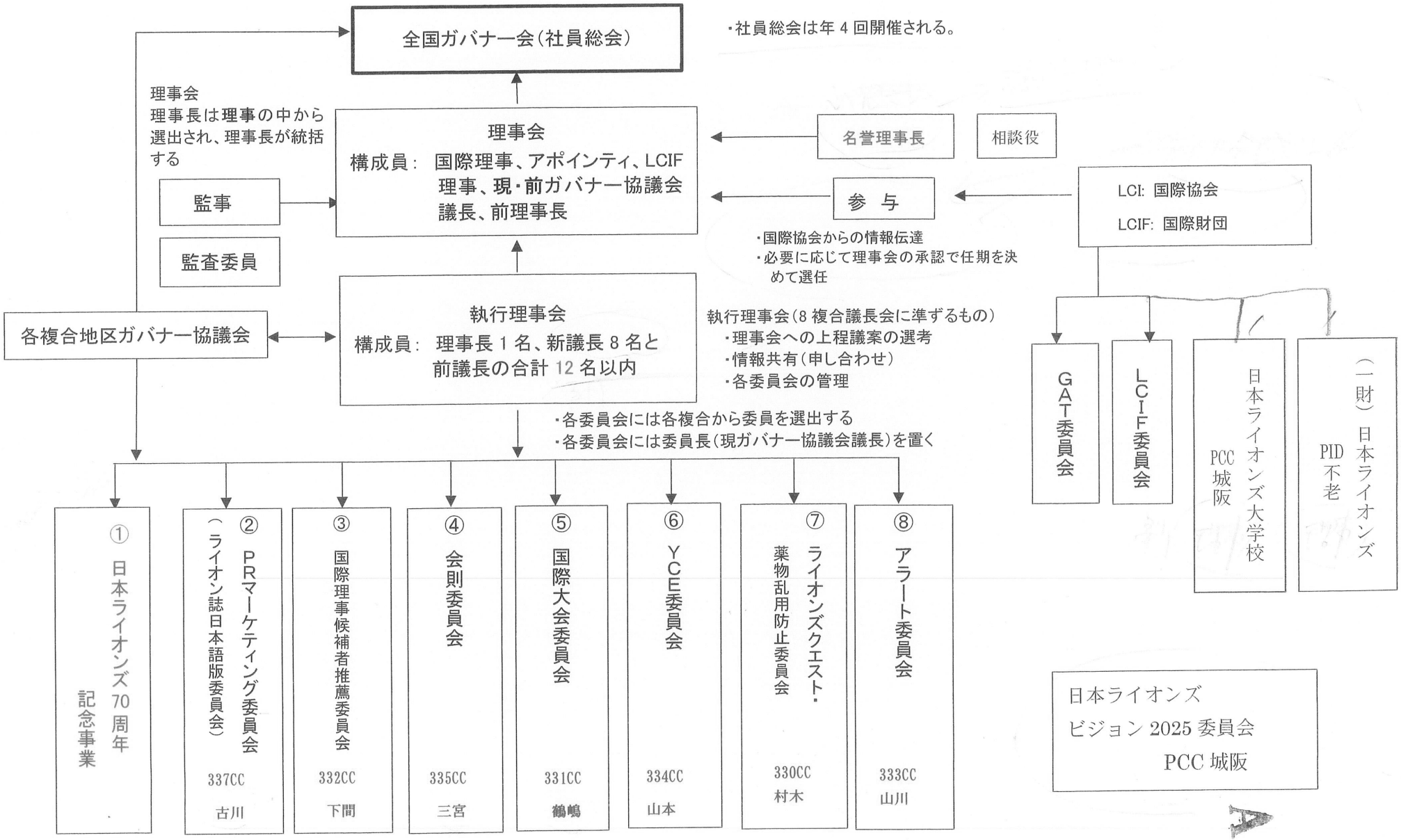
閉会あいさつ	
ガバナー協議会議長	福永 栄一

割愛 年次大会リハーサルへ

議事録署名人：336 複合地区ガバナー協議会 議長 福永 栄一
承認年月日 ：2022 年 6 月 2 日 福永 栄一

一般社団法人日本ライオンズ組織図　新年度(2022-23)(案)

2022.5.25 第 8 回執行理事会提案



新年度(2022-23)案　一般社団法人日本ライオンズ　理事会内担当理事

委員会名称、担当内容及び担当理事の選任

	委員会名称	担当内容	担当理事 （敬称略）
1	総務・人事・管理	運営全般・総会準備、採用・査定等	(村木)(山川)(山本)
2	財務・会計・資産管理	収支予算書など会計全般	(鶴嶋ー委員長)(下間)(福永)
3	スペシャルオリンピックス(SON)・渉外ー般・PRマーケティング・デジタル化	一般契約/交渉・法人HP管理、	(福永-SON)(古川-PR/デジタル化)(山本ー渉外)
4	GAT・LCIF （地区クラブサービス）	会員数減少に対応するための運営計画	(下間)(三宮)
5	VISION 2025	事務所移転準備	(城阪)
6	外部との折衝全般	行政、他団体との包括交渉	(前理事長)(山川)(村木)

現議長　新議長

＊決済担当：理事長、専務理事
財務担当理事1名、 計3名

(理事会理事16＋α名)

2021-22 MD330議長	村木 秀之 （現専務理事）	1
2021-22 MD331議長	鶴嶋 浩二 （現常務理事）	2
2021-22 MD332議長	下間 俊悦 （現常務理事）	3
2021-22 MD333議長	山川 洋 （現副理事長）	4
2021-22 MD334議長	山本 基博 （現常務理事）	5
2021-22 MD335議長	三宮 秀介 （現常務理事）	6
2021-22 MD336議長	福永 栄一 （現常務理事）	7
2021-22 MD337議長	古川 隆 （現副理事長）	8
2022-23 MD330議長	亀井 真司 （かめい しんじ）	9
2022-23 MD331議長	須藤 敏幸 （すどう としゆき）	10
2022-23 MD332議長	田名部 智之 （たなぶ ともゆき）	11
2022-23 MD333議長	松本 宰史 （まつもと おさし）	12
2022-23 MD334議長	増澤 義治 （ますざわ よしはる）	13
2022-23 MD335議長	吉村 弘吉 （よしむら ひろよし）	14
2022-23 MD336議長	池原 堅 （いけはら かたし）	15
2022-23 MD337議長	玉川 孝 （たまがわ たかし）	16
2021-23 国際理事	藏 大介	17
2021-23 国際理事	永田 賢司	18
2022-24 国際理事候補者	長澤 千鶴子	19
2022-23 LCIF理事、アポインティ、		

現議長

新議長

A3

A

6項目の案について

1．山田元国際会長を一般社団法人日本ライオンズの名誉理事長にご就任頂く件

・定款の変更（別紙１）及び内規の変更（別紙２）

2，「一般財団法人日本ライオンズ」への社団理事枠１名要請の件
3，「ライオンズ日本大学校」への社団理事枠１名要請の件

現行内規第１条(正社員)、第２条(理事)に定める「理事会の指名する者」として、理事会において適宜選出が可能である（内規の変更不要)。その結果は、他の理事と同じ扱いとなります。

4，上記、2，3，にて　理事就任頂く折の任期は　最長２年（同一の方）

不要

5．一般社団法人日本ライオンズ参与として、GAT日本全域エリアリーダー及び
GATエリアリーダー（GST,GLT,GMA,SPFWT　各担当　計４名）の　計５名

内規の変更あり（別紙２）

6．一般社団法人日本ライオンズ各委員会構成
(ア）２年目理事が　各委員会　委員長として就任する。
(イ）１年目理事が　各委員会　副委員長として就任する。

以上を一般社団法人日本ライオンズ定款変更及び必要諸規定の改定を行う

手続き　定款の変更は社員総会にて３分の２以上の賛成（定款第５６条）が必要。

内規の変更は理事会の決議（過半数）が必要。

別紙１

定款の変更案

（名誉理事長）

新第３１条　この法人に名誉理事長１名を置くことができる。

２　名誉理事長は、現国際会長、前・元国際会長のうちから、理事会において任期を定めた上で選任する。

３　名誉理事長は、全ての会に出席できるが、議決権を有するものではなく、また、報酬を受けない。

現第３１条は、新第３２条になり、以下順次繰り下がる。

別紙２

社員・理事及び監事・相談役等の選任基準に関する規定（内規）の変更案

（名誉理事長）

新第５条　定款第３１条の規定により、現国際会長、前・元国際会長のうちから、名誉理事長として１名を選任することができる。

２　名誉理事長は、全ての会に出席できるが、議決権を有するものではない。

３　名誉理事長は、理事会において任期を定めて選任される。

（相談役）

新第６条　定款第３２条の規定により、当法人に相談役として若干名を置くことができる。

２　相談役は理事会に於いて選任され、任期は２年とする。

（参与）

新第７条　定款第３３条の規定により、当法人はGAT日本全域エリアリーダー及び東西GATエリアリーダー及び各エリアリーダー（以上７名）を参与として選任することができる。

２　参与は理事会において選任され、任期は２年とする。

（規定の改廃）

新第８条　　現行通り-

追加変更案（第８回執行理事会にて提案）

２０２２年５月３０日

定款の変更（案）

現第２２条

２　理事のうち、１名を代表理事とし、１１名以内を一般社団法人法第９１条第１項２号に規定する執行理事とすることができる。

現第２３条

４　理事会は、その決議によって第２項で選任された執行理事より副理事長、専務理事及び常務理事を選定することができる。ただし、副理事長３名以内、専務理事は１名まで、常務理事は７名以内とする。

A

社員・理事及び監事・相談役等の選任基準に関する規定（内規）（参考資料

変更案（2022.5.25第8回執行理事会）

一般社団法人日本ライオンズは、当法人の適正・公正な業務運営を図るため、定款第６条（１）に定める正社員、同第２２条に定める理事・監事並びに定款第３１条に定める相談役の選任基準を以下の通り定める。

第１条（正社員）

正社員は、当該年度における地区ガバナー又は地区ガバナーエレクト（３５名）、現国際理事、現 LCIF 国際理事、現国際理事会アポインティー、当該年度における８複合地区ガバナー協議会議長（８名）、前年度８複合地区ガバナー協議会議長（８名）及び前年度の理事長、理事会の指名する者並びに監事が、選任されるものとする。

第２条（理事）

理事は、当該年度における８複合ガバナー協議会議長（８名）、現国際理事、現 LCIF 国際理事、前年度８複合地区ガバナー協議会議長（８名）並びに現国際理事会アポインティー並びに前年度の理事長、理事会の指名する者のうちから選任される。

第３条（理事の再任）

理事の再任は、妨げない。

第４条（監事）

監事は、８複合地区ガバナー協議会議長の地位にあった者から、４名以内を選任する。

但し、理事を兼任することはできない。

新第５条（名誉理事長）

定款第３１条の規定により、現国際会長、前・元国際会長のうちから、名誉理事長として１名を選任することができる。

２　名誉理事長は、全ての会に出席できるが、議決権を有するものではない。

３　名誉理事長は、理事会において任期を定めて選任される。

新第６条（相談役）

定款第３２条の規定により、当法人に相談役として若干名を置くことができる。

２　相談役は理事会に於いて選任され、任期は２年とする。

新第７条（参与）
定款第３３条の規定により、当法人はGAT日本全域エリアリーダー及び東西GATエリアリーダー及び各エリアリーダー（以上７名）を参与として選任することができる。

２　参与は理事会において選任され、任期は２年とする。

新第８条（規定の改廃）
この規定の改廃は、理事会の決議により行うものとする。

附　則

この規定は、理事会の議決により2020年５月27日から施行する。

改定履歴
2022年３月10日　（第１条、第２条）

2022年　月　日

新年度（2022-2023）案
一般社団法人日本ライオンズ　理事会内担当理事

	委員会名称、担当内容及び担当理事の選任		
	委員会名称	担当内容	担当理事（敬称略）
1	総務・人事・管理	運営全般・総会準備、 採用、査定等	現議長：村木、山川、山本 新理事：田名部、玉川
2	財務・会計・資産管理	収支予算書など会計全般	現議長：鶴島、下間、福永 新理事：須藤、松本、吉村
3	・スペシャルオリンピックス（SON） ・渉外一般 ・PRマーケティング・デジタル化（IT）	・一般契約（SON） ・交渉 ・法人HP管理	現理事：・福永（SON）・古川（IT） ・山本（渉外） 新理事：池原（渉外）松本（IT）亀井（SON）
4	GAT・LCIF（地区クラブサービス）	会員数減少に対応 するための運営計画	現理事：下間、三宮 新理事：吉村、亀井
5	VISION　2025	事務所移転準備	現理事：城坂 新理事：須藤、増澤
6	外部との折衝全般	行政、他団体との 包括交渉	現理事：山川、村木 新理事：増澤、玉川

委員会構成

委員長は現議長、副委員長は新議長が担当する。

	22-23年度　委員会名	委員長（21-22議長）	副委員長（22-23議長）
1	日本ライオンズ70周年記念事業		MD334　増澤　義治
2	PRマーケティング委員会 （ライオン誌日本語版委員会）	MD337　古川　隆	MD336　池原　堅
3	国際理事候補者推薦委員会	MD332　下間　俊悦	MD335　吉村　弘吉
4	会則委員会	MD335　三宮　秀介	MD333　松本　宰史
5	国際大会委員会	MD331　鶴島　浩二	MD332　田名部　智之
6	YCE委員会	MD334　山本　基博	MD331　須藤　敏幸
7	ライオンズクエスト ・薬物乱用防止委員会	MD330　村木　秀之	MD330　亀井　真司
8	アラート委員会	MD333　山川　洋	MD337　玉川　孝

2022～2023 年度 336 複合地区ガバナー協議会・各委員会/LCIF/GAT
日本ライオンズ等 役員一覧表(案)　　※2022/6/8 現在

	議長	副議長	副議長	幹事	会計
ガバナー協議会 緊急援助資金委員会兼務	池原　堅 C・福山久松	市村 通夫 A・鴨島	西尾 愼一 B・鳥取	中島　繁 D・宇部かたばみ	弓場 秀俊 C・三原
事務局運営委員会	委員長	委員(キャビネット幹事)			
	水野 勝則 C・福山久松	後藤田 邦裕 A・鴨島	池田 康利 B・鳥取いなば	山﨑　勉 D・宇部かたばみ	吉井 秀幸 C・三原

［ 各チーム・委員会 ］		複合地区役員 担当ガバナー 世話人	複合地区役員 MD 委員長 MD コーディネーター	複合地区役員 MD 副委員長 MD 副コーディネーター	準地区役員 GMA=ガバナー／委員=準地区委員長／LCIF＆GAT=準地区コーディネーター A 地区	準地区役員 B 地区	準地区役員 C 地区	準地区役員 D 地区
LCIF		市村 通夫 A・鴨島	高岡 英治 A・松山湯築	平山 智雄 B・津山鶴山	市村 通夫 鴨島	西尾 愼一 鳥取	弓場 秀俊 三原	中島　繁 宇部かたばみ
GMA		真鍋　隆 A・こんぴら	真鍋　隆 A・こんぴら	—	市村 通夫 鴨島	西尾 愼一 鳥取	弓場 秀俊 三原	中島　繁 宇部かたばみ
GAT	GMT	西尾 愼一 B・鳥取	真鍋　隆 A・こんぴら	山﨑 勝彦 A・高知 藤井 信英 B・岡山みらい 三口　巖 C・宮島口 山崎もとみ D・大田	真鍋　隆 こんぴら	難波　進 岡山あげは	髙田 信吾 福山葦陽	岡田 和好 長門
	GLT	弓場 秀俊 C・三原	三島 英揮 C・福山東	石井 淑雄 A・坂出白峰 上原 正樹 B・岡山西 鳴戸 大二 C・広島鯉城 神田 義満 D・防府	橋本 充好 高知柏	高尾 佳孝 境港	九十九 誠 尾道瑠璃	椎木 一三 徳山
	GST	中島　繁 D・宇部かたばみ	澤　辰水 D・下関	占部 智之 C・福山松永	酒井 公一 高知りょうま	岡嶋 正和 岡山あげは	村上　進 尾道	金田 寛治 岩国錦
	SCP FWT	市村 通夫 A・鴨島	鵜飼 恵美 C・広島紅葉	片山 敏子 C・三原久井	山本 久美子 徳島藍	斎藤 由香 岡山みらい	片山 敏子 三原久井	佐々木 歌子 新南陽若山
会則および付則・運営マニュアル編集		藤本 幸嗣 D・岩国桜	岡村 聖爾 D・下関北	大谷　博 B・岡山	一宮 昭夫 北島	榎本　明 総社雪舟	伊藤 哲哉 広島西北	大木 寿之 松江葵
IT・M・ライオンズ情報		長尾 和彦 A・高松源平	濱本 義樹 C・尾道向島	泉　清博 A・高知中央	十川　剛 三豊	住吉 孝文 玉野	宮本 浩二 広島西北	廣畑 雅弘 萩
事務局サポート		大木 寿之 D・松江葵						
アラート	実動	西尾 愼一 B・鳥取	高岡 英治 A・松山湯築	藤井 信英 B・岡山みらい	出射 隆文 高松フェニックス	井上 哲孝 岡山みらい	廿日出 一晴 呉安浦	吉村 あとむ 安来
	運営			小野 宗次 B・倉敷真備	橋本 孝志 高知よさこい	眞治 憲之 倉敷天領	徳毛 直文 福山北	青谷 和彦 宇部かたばみ
YCE・国際関係・レオ		西尾 愼一 B・鳥取	高橋　淳 C・広島デルタ	蔵本 守雄 A・高松源平	川田 博文 高松葵	江原　忍 鳥取中央	藤井 一仁 福山南	今川 和男 佐田
ライオンズクエスト		弓場 秀俊 C・三原	三口　巖 C・宮島口	大野 美雄 D・松江	山畠 まゆみ 徳島藍	江原　忍 鳥取中央	御藤 良基 尾道	冨田 克敏 平生
青少年・環境保全・保健福祉 (献血・献眼・視聴覚・薬物乱用)		中島　繁 D・宇部かたばみ	藤井 信英 B・岡山みらい	田中 秀幸 D・下関	豊岡 隆司 徳島城山	岡嶋 正和 岡山あげは	森末 善彦 三良坂 川本　博 東広島黒瀬	貞金 宗憲 下関西
長期計画		酒井 公一 A・高知りょうま	金礪　毅 B・岡山京山	占部　裕 C・福山ピース	春木 扶佐子 鳴門	前原 りつこ 岡山ハーモニー	堀　葉子 広島中央	山崎 もとみ D・大田
					横山 伸也 松山金亀	四木 秀章 岡山せとうち	夜船　博 三原浮城	矢田 二三夫 出雲中央
					石川 裕之 三豊	渋江 基史 岡山	三谷 哲也 福山シティ	福田 幸博 下関響灘
複合地区監査		川辺 信郎 A・徳島城山	松本 正福 B・境港	岡村 聖爾 D・下関北	第 69 回年次大会 委員長	髙田 健司 C・福山葦陽	LCIF 副エリアリーダー 336・337 担当	橋本 充好 A・高知柏

第一副地区ガバナー				第二副地区ガバナー			
山﨑 勝彦 A・高知	藤井 信英 B・岡山みらい	三口　巖 C・宮島口	山崎 もとみ D・大田	石井 淑雄 A・坂出白峰	上原 正樹 B・岡山西	鳴戸 大二 C・広島鯉城	神田 義満 D・防府

国際理事会	元国際理事／ガバナー協議会顧問			
	渡部 雅文 B・倉敷西	谷野　徹 D・下関西	藤井 基博 C・福山東	名越　勉 B・倉吉

一般財団法人日本ライオンズ 理事会	理事
	福永 栄一 C・広島ニュー

一般社団法人 日本ライオンズ 理事会／委員会	執行理事 ○○○○ ※役職未定 PR マーケティング委員会（ライオン誌日本語版委員会）副委員長	理事 SON・渉外・一般・PR マーケティング・デジタル化委員会 委員長 ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会 委員長					
	池原　堅 C・福山久松	福永 栄一 C・広島ニュー					
	監事	監査	ライオン誌 日本語版委員会 委員	会則委員会 委員	国際大会委員会 委員	国際理事候補者 推薦委員会 委員	YCE 委員会 委員
	岡村 聖爾 D・下関北	寺越 愼一 C・広島平和	玉浦　巖 C・三原浮城	岡村 聖爾 D・下関北	福代 明正 D・出雲中央	金礪　毅 B・岡山京山	高橋　淳 C・広島デルタ
	LQ・薬物乱用防止 委員会 委員	アラート委員会					
		西日本統括リーダー	MD336 班長	MD336 副班長			
	藤井 信英 B・岡山みらい	藤井 信英 B・岡山みらい	○○○○	田中　元 A・高松空港	井上 哲孝 B・岡山みらい	廿日出 一晴 C・呉安浦	吉村 あとむ D・安来

2022 年 5 月 31 日

336 複合地区ガバナー協議会　次期議長様

次期 GAT 日本全域リーダー　城阪　勝喜

2022-2023 年度複合地区ＧＡＴコーディネーター任命についてのお願い

拝啓

新年度を迎えるにあたり、次期議長の皆様におかれましては、お忙しくお過ごしのことと存じます。

この度次期 GAT 日本全域リーダーを拝命し、GAT リーダーチーム全体で皆様としっかり連携を取り、地区目標達成のための支援に取り組んでいきたいと考えております。

さて、貴複合地区では次期 GAT コーディネーターの人選を進めていらっしゃるかと存じますが、GAT の活動をより効果的なものとするため、GAT リーダーチームとして特に複合地区コーディネーターを担っていただきたい方を下記の通り推薦させていただきたく、選出をご検討いただけますようお願い申し上げます。

ご存じの通り、現職の協議会議長は複合地区 GAT のファシリテーターとなり、複合地区で各コーディネーターを選任します。議長とともに、有能なリーダーの育成、会員増強、複合地区による人道奉仕の拡大のための計画を効果的に実施していただけるコーディネーターの任命をお願いいたします。

GAT リーダーチームとしての推薦をご検討頂いた上で選出された各コーディネーターを、6 月 6 日（月）までに添付のフォームにてお知らせいただけますと幸いです。

推薦についてご質問やご意見がある場合は、担当の次期エリアリーダーにお問合せください。

宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

複合地区 GLT コーディネーター	336-C	三島　英揮
複合地区 GMT コーディネーター	336-A	真鍋　隆
複合地区 GST コーディネーター	336-D	澤　辰水
複合地区スペシャルティクラブ・FWT コーディネーター	336-C	鵜飼　恵美

Lions Clubs International
FOUNDATION
300 W 22ND STREET • OAK BROOK ILLINOIS 60523-8842 USA • 630.571.5466 • WWW.LCIF.ORG

2022 年 5 月 24 日

L.　EIJI TAKAOKA 様

この度、ライオンズクラブ国際財団の新たな幕開けを導くために、ご尽力いただきたいと願いご連絡申し上げます。ご存知の通り、過去４年間に渡り、キャンペーン 100 を通して、世界中でのライオンズとライオンズによる奉仕への支援の重要性を私たちは訴えてまいりました。この歴史的なキャンペーンは、災害支援、視力、糖尿病、環境、小児がん、青少年支援、食糧支援というライオンズ・インターナショナルのグローバル奉仕目標に沿った世界中の奉仕事業を支えてきたのです。

これからの数年、キャンペーン 100 の成功を基盤にさらに LCIF を確固としたものにしていかなければなりません。私は、この努力に貴方の手をお借りしたいのです。なぜなら、LCIF の成功は、世界中の献身的な意欲とビジョンを持ったリーダーによって支えられているからであり、貴方を以下にお伝えする役職に任命するのは、まさにそのためです。

これまでのご経験、リーダーとしてのご経歴そして LCIF への理解とご支援に基づき、貴方を MD336 LCIF 複合地区コーディネーターに任命いたします。

この役職において、貴方は所属複合地区において地区コーディネーターとクラブコーディネーターに対するリーダーとして重要な役割を担うとともに、日本における活動のトップリーダーの一員として、直接インパクトをもたらしファンドレイジングをはじめ複合地区内における LCIF 活動の成功に貢献することになります。その職務内容は以下の通りです。

- エリアリーダー、サブエリアリーダー、複合地区内の地区コーディネーターと緊密に連携をとる
- 複合地区内の目標やそのベンチマークに向けての進捗状況を把握し、達成に向けて必要な活動をリードする
- LCIF と交付金その他活動のインパクトについて、所属複合地区のライオンズ会員を教育する
- 効果的なファンドレイジングと成功事例を実践する
- 定期的な上記目的のためのコミュニケーションを実践する

これから数か月のうちに、あなたの任務に関連する情報や資料などをさらにお受け取りになると思います。どうぞ地域の LCIF リーダーと貴複合地区のリーダーと協力しつつ役目を果たしてください。あなたの活躍に期待をし、頼りにしております。

最後に、改めましてこの重要な役職をお引き受けいただくことに、心から感謝申し上げます。

Douglas K. Alexander

ダグラス・アレキサンダー
ライオンズクラブ国際協会　国際会長

Jung-Yul Choi

ジュンヨル・チョイ
ライオンズクラブ国際財団理事長

WE CARE. WE SERVE. WE ACCOMPLISH.

2022-MDC

Lions Clubs International
FOUNDATION
300 W 22ND STREET • OAK BROOK ILLINOIS 60523-8842 USA • 630.571.5466 • WWW.LCIF.ORG

2022 年 5 月 24 日

L.　MITSUYOSHI HASHIMOTO 様

この度、ライオンズクラブ国際財団の新たな幕開けを導くために、ご尽力いただきたいと願いご連絡申し上げます。ご存知の通り、過去４年間に渡り、キャンペーン 100 を通して、世界中でのライオンズとライオンズによる奉仕への支援の重要性を私たちは訴えてまいりました。この歴史的なキャンペーンは、災害支援、視力、糖尿病、環境、小児がん、青少年支援、食糧支援というライオンズ・インターナショナルのグローバル奉仕目標に沿った世界中の奉仕事業を支えてきたのです。

これからの数年、キャンペーン 100 の成功を基盤にさらに LCIF を確固としたものにしていかなければなりません。私は、この努力に貴方の手をお借りしたいのです。なぜなら、LCIF の成功は、世界中の献身的な意欲とビジョンを持ったリーダーによって支えられているからであり、貴方を以下にお伝えする役職に任命するのは、まさにそのためです。

これまでのご経験、リーダーとしてのご経歴そして LCIF への理解とご支援に基づき、貴方を MD336-337 LCIF サブエリアリーダーに任命いたします。

この役職において、貴方は日本における LCIF 推進におけるリーダーとして重要な役割を担うとともに、日本における活動のトップリーダーの一員として、直接インパクトをもたらしファンドレイジングをはじめ日本国内における LCIF 活動の成功に貢献することになります。その職務内容は以下の通りです。

- エリアリーダー、複合地区コーディネーターと緊密に連携をとる
- 担当エリアの目標やそのベンチマークに向けての進捗状況を把握し、達成に向けて必要な活動をリードする
- LCIF と交付金その他活動のインパクトについて、担当地域のライオンズ会員を教育する
- 効果的なファンドレイジングと成功事例を実践する
- 定期的な上記目的のためのコミュニケーションを実践する

これから数か月のうちに、あなたの任務に関連する情報や資料などをさらにお受け取りになると思います。どうぞ地域の LCIF リーダーと複合地区のリーダーと協力しつつ役目を果たしてください。あなたの活躍に期待をし、頼りにしております。

最後に、改めましてこの重要な役職をお引き受けいただくことに、心から感謝申し上げます。

Douglas K. Alexander

ダグラス・アレキサンダー
ライオンズクラブ国際協会　国際会長

Jung-Yul Choi

ジュンヨル・チョイ
ライオンズクラブ国際財団理事長

WE CARE. WE SERVE. WE ACCOMPLISH.

2022-AL

LIONS CLUBS INTERNATIONAL
The 68th Annual Convention MD336
YUSHI-BLDG.4F.1-24.TATE-MACHI.NAKA-KU
HIROSHIMA 730-0032 JAPAN
TEL：082-298-4275　FAX：082-298-4257
E-mail：md336-68taikai@gaea.ocn.ne.jp

ライオンズクラブ国際協会336複合地区
第68回年次大会事務局
〒730-0032 広島市中区立町 1-24 有信ビル 4 階
TEL：082-298-4275　FAX：082-298-4257
E-mail：md336-68taikai@gaea.ocn.ne.jp

2022 年 6 月吉日

ライオンズクラブ国際協会
336 複合地区ガバナー協議会　御中

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区
第 68 回年次大会事務局
大会議長　福永　栄一
大会委員長　山田　春男
大会事務局長　森田安芸彦

第６８回年次大会事務局　閉局のご案内

拝啓、初夏の候益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。
さて336複合地区第68回年次大会は、皆様の温かいご協力により無事終了することができました。
それに伴い、大会事務局も閉局とさせていただきます。
不慣れなこともあり、多数ご迷惑をおかけしたとは思いますが、どうぞご容赦ください。
また各方面からのあたたかいお言葉に随分と励ましていただきましたこと感謝申し上げます。
末筆ながら、貴クラブの今後益々の御活躍をお祈り申し上げ、お礼とさせていただきます。

敬具

記

３３６複合地区　第６８回年次大会事務局

閉 局 日　　２０２２年　６月　２０日

以後のご連絡は、下記にお願いいたします

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区ガバナー協議会事務局

〒700-0985 岡山県岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F

TEL:086-234-0695　　FAX:086-234-0695

Mail：admin@lions-md336.org

皆様の多大なるご協力に感謝申し上げます

2021-2022

一般社団法人　日本ライオンズ

第３回国際理事候補者推薦選挙管理委員会会議要録

◎日　時：　２０２２年3月２９日（火）１３：３０－１６：００

◎場　所：　一般社団法人日本ライオンズ（ハイブリッド）

◎出席者：

国際理事候補者推薦選挙管理委員会委員長

三宮　　秀介（神戸須磨 LC）

330 複合地区推薦選挙管理委員　田中　明　（和光 LC）

331 複合地区推薦選挙管理委員　荒井　喜和　（札幌清田 LC）

332 複合地区推薦選挙管理委員　菅野　文吉　（川俣 LC）

333 複合地区推薦選挙管理委員　松本　元良*（伊勢崎佐波 LC）

334 複合地区推薦選挙管理委員　藤井　大川　（名古屋サウス LC）

335 複合地区推薦選挙管理委員　中村　猛　（牧方 LC）

336 複合地区推薦選挙管理委員　安田　克樹*（竹原 LC）

337 複合地区推薦選挙管理委員　古川　隆　（福岡くしだ LC）

＊ WEB 出席

開票立会人：（国際理事候補者 MD）

331 複合地区協議会議長　　鶴嶋　浩二（札幌中島 LC）

333 複合地区協議会議長　　山川　洋　（牛久茎崎 LC）

オブザーバー：

専務理事　　村木　秀之（東京数寄屋橋 LC）

事務総長　　菅原　雅雄（東京掘留 LC）

◎議　　事：

１．会議進行の確認

本日の出席者のうち２名が WEB 出席であることと、開票立会人２名が紹介された。
議事録作成人２名（MD332 菅野委員、MD335 中村委員）が指名された。

２．第２回会議（3/18）以降の報告事項

三宮委員長から、３月 25 日の投票締切日（当日消印有効）以降、本日３月 29 日午後１時 30 分到着期限までに１４６通受け付けたことを確認した。

３．開票

開票作業手順（案）を元に、開票にあたっての注意事項を確認した。また、無効票については、あらかじめ全員で取り決めを済ませておいてから、開票作業を開始した。

４．投票結果報告　（届出順記載）

長澤千鶴子候補票	７８　票
渡辺修候補票	６６　票
白票	０　票
無効票	２　票
合計	１４６　票

（投票人　150 名に対し、 97.3%の投票率）

結果報告書を作成し、本日付け一般社団法人日本ライオンズ仁科理事長、理事会構成員及び国際理事候補者推薦員会委員に送付するために、委員長および委員が署名を付す。さらに開票立会人 2 名が投票結果を確認し、証人としての署名を付した。

※報告書の写しが配布され、開票立会人は退席した。

５．その他

⑴　投票用紙は直近の理事会において三宮委員長が報告を済ませた後、60 日以降にシュレッダーで廃棄処分するものとする。

以上

会議はロバート議事規則に則って進められ、議事要録は上記と間違いないことをここに認める。委員長及び会議出席者 1 名が証明のため、署名する。

国際理事候補者推薦選挙管理委員会

委員長　三宮秀介

会議出席者　河中　明

署名年月日：　2022 年 3 月 29 日

2022年3月29日

一般社団法人日本ライオンズ

理事長　仁科　良三　殿

理事会構成員　殿

国際理事候補者推薦委員会委員　殿

2022-2024国際理事候補者への推薦投票結果報告

拝啓

本日、日本ライオンズ事務所内で開票いたしましたところ、次の投票結果となりました。

投票人数	投票通数	長澤千鶴子候補票	渡辺修候補票	白票	無効票	合計票数
150	146	78	66	0	2	146

注：投票通数と合計票数は一致していません。

投票率＝合計票数/投票人数　97.3　%

国際理事立候補者推薦手続規則第17条により、長澤千鶴子候補を当推薦選挙管理委員会の推薦者、すなわち日本の8複合地区が推す1名の2022-2024国際理事候補者となりましたことをご報告申し上げます。

敬具

2022-2024年度国際理事候補者推薦選挙管理委員会

選挙管理委員長(MD335)　三宮秀介

選挙管理委員(MD330)　河中朔

選挙管理委員(MD331)　荒井喜和

選挙管理委員(MD332)　菅野文吉

選挙管理委員(MD333)*

選挙管理委員(MD334)　藤井大川

選挙管理委員(MD335)　中村猛

選挙管理委員(MD336)*

選挙管理委員(MD337)

※WEB出席

上記の投票結果の証人として：

開票立会人(MD331)　鶴嶋洸二

開票立会人(MD333)

日本ライオンズクラブ　クラブ数・会員数

2022年4月末現在　国際本部集計

＊増減及び入退会等は期首からの累計

	クラブ数	新結成	解散	クラブ数増減	会員数	入会者数	退会者数	会員数増減	男性会員数	女性会員数	女性の割合	家族会員（子会員）	子会員の割合	男性子会員数	女性子会員数	子会員を除く会員数
330-A	193	1	1	0	5,697	396	266	130	4,105	1,592	27.9%	1,417	24.9%	483	934	4,280
330-B	152	1	0	1	3,739	200	167	33	3,129	610	16.3%	353	9.4%	104	249	3,386
330-C	73	0	1	−1	1,820	83	94	−11	1,504	316	17.4%	228	12.5%	79	149	1,592
330MD	418	2	2	0	11,256	679	527	152	8,738	2,518	22.4%	1,998	17.8%	666	1,332	9,258
331-A	72	1	1	0	2,420	150	153	−3	1,986	434	17.9%	321	13.3%	65	256	2,099
331-B	74	0	0	0	2,184	98	113	−15	1,795	389	17.8%	313	14.3%	49	264	1,871
331-C	44	0	0	0	1,535	65	105	−40	1,255	280	18.2%	241	15.7%	66	175	1,294
331MD	190	1	1	0	6,139	313	371	−58	5,036	1,103	18.0%	875	14.3%	180	695	5,264
332-A	60	4	0	4	1,938	176	71	105	1,464	474	24.5%	359	18.5%	75	284	1,579
332-B	50	0	0	0	1,971	61	72	−11	1,305	666	33.8%	687	34.9%	127	560	1,284
332-C	55	1	0	1	1,565	98	65	33	1,123	442	28.2%	390	24.9%	85	305	1,175
332-D	68	0	1	−1	2,261	94	114	−20	1,703	558	24.7%	504	22.3%	114	390	1,757
332-E	52	0	0	0	1,713	87	50	37	1,376	337	19.7%	271	15.8%	48	223	1,442
332-F	45	0	0	0	1,271	43	42	1	920	351	27.6%	291	22.9%	54	237	980
332MD	330	5	1	4	10,719	559	414	145	7,891	2,828	26.4%	2,502	23.3%	503	1,999	8,217
333-A	70	0	1	−1	2,694	154	120	34	2,277	417	15.5%	226	8.4%	71	155	2,468
333-B	46	1	1	0	1,481	105	57	48	973	508	34.3%	425	28.7%	109	316	1,056
333-C	111	0	3	−3	2,815	139	165	−26	2,208	607	21.6%	347	12.3%	116	231	2,468
333-D	49	0	0	0	1,881	97	132	−35	1,400	481	25.6%	439	23.3%	102	337	1,442
333-E	81	1	0	1	4,197	207	191	16	2,978	1,219	29.0%	1,287	30.7%	399	888	2,910
333MD	357	2	5	−3	13,068	702	665	37	9,836	3,232	24.7%	2,724	20.8%	797	1,927	10,344
334-A	109	0	1	−1	5,451	377	201	176	3,739	1,712	31.4%	1,672	30.7%	348	1,324	3,779
334-B	76	0	1	−1	3,820	123	173	−50	2,823	997	26.1%	1,085	28.4%	259	826	2,735
334-C	75	0	1	−1	2,994	156	183	−27	2,573	421	14.1%	289	9.7%	39	250	2,705
334-D	93	0	0	0	4,786	194	199	−5	3,392	1,394	29.1%	1,343	28.1%	233	1,110	3,443
334-E	49	0	0	0	2,374	96	62	34	1,656	718	30.2%	678	28.6%	163	515	1,696
334MD	402	0	3	−3	19,425	946	818	128	14,183	5,242	27.0%	5,067	26.1%	1,042	4,025	14,358
335-A	69	0	0	0	1,814	117	88	29	1,414	400	22.1%	144	7.9%	29	115	1,670
335-B	151	0	2	−2	6,413	414	285	129	4,538	1,875	29.2%	1,578	24.6%	346	1,232	4,835
335-C	102	0	0	0	3,716	206	132	74	3,083	633	17.0%	342	9.2%	84	258	3,374
335-D	57	0	1	−1	1,748	79	71	8	1,398	350	20.0%	232	13.3%	52	180	1,516
335MD	379	0	3	−3	13,691	816	576	240	10,433	3,258	23.8%	2,296	16.8%	511	1,785	11,395
336-A	138	0	2	−2	5,352	337	399	−62	4,119	1,233	23.0%	827	15.5%	164	663	4,525
336-B	87	0	0	0	2,603	131	158	−27	2,169	434	16.7%	235	9.0%	46	189	2,368
336-C	81	0	1	−1	2,998	155	160	−5	2,464	534	17.8%	378	12.6%	74	304	2,620
336-D	88	0	0	0	2,742	141	152	−11	2,407	335	12.2%	125	4.6%	17	108	2,617
336MD	394	0	3	−3	13,695	764	869	−105	11,159	2,536	18.5%	1,565	11.4%	301	1,264	12,130
337-A	114	2	1	1	4,613	338	248	90	3,420	1,193	25.9%	793	17.2%	157	636	3,820
337-B	63	0	1	−1	2,281	129	121	8	1,855	426	18.7%	301	13.2%	53	248	1,980
337-C	73	0	0	0	3,190	108	149	−41	2,218	972	30.5%	952	29.8%	266	686	2,238
337-D	68	1	0	1	2,188	228	126	102	1,787	401	18.3%	238	10.9%	56	182	1,950
337-E	55	0	0	0	1,721	82	88	−6	1,393	328	19.1%	255	14.8%	76	179	1,466
337MD	373	3	2	1	13,993	885	732	153	10,673	3,320	23.7%	2,539	18.1%	608	1,931	11,454
総計	2,843	13	20	−7	101,986	5,664	4,972	692	77,949	24,037	23.6%	19,566	19.2%	4,608	14,958	82,420

336複合地区 GMT報告書 （2022年3月末現在）

336複合地区GMTコーディネーター 真鍋 隆

（単位：人）

会員数 ※6月末計	A地区	B地区	C地区	D地区	336複合地区
2015-2016年度	6,105	3,392	3,442	3,391	16,330
2016-2017年度	6,171	3,143	3,376	3,200	15,890
2017-2018年度	6,013	3,069	3,340	3,042	15,464
2018-2019年度	5,793	2,921	3,212	2,918	14,844
2019-2020年度	5,518	2,775	3,069	2,820	14,182
2020-2021年度	5,414	2,630	3,003	2,753	13,800
2021-2022年度					0
前年度期首比	-104	-145	-66	-67	-382

四半期会員増強計画 期間：2021年7月1日～2022年6月30日

（単位：人）

	A地区 蔵本 守雄		B地区 平山 智雄		C地区 三島 英揮		D地区 大野 美雄		336複合地区 合 計	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
7月～9月	100	110	50	59	50	74	50	56	250	299
退会見込み者数	80	134	45	49	30	53	40	48	195	284
10月～12月	150	95	50	37	50	37	50	39	300	208
退会見込み者数	80	122	10	53	30	49	40	42	160	266
1月～3月	100	91	50	18	50	24	40	35	240	168
退会見込み者数	80	116	5	41	30	35	30	47	145	239
4月～6月	50		50		50		40		190	
退会見込み者数	90		30		80		69		269	
会員増強計画 計	400		200		200		180		980	
退会見込み者数 計	330		90		170		179		769	
会員純増目標 合計		70		110		30		1		211

※チャーター20を含む ※チャーター60含む

会員増強計画に対する方法

A地区ガバナー 蔵本 守雄	純増70人を目標にし、会員の健康維持を第一に考えて現会員には長生きをしてライオンズ活動をと願っています。若い方に入会して頂くためにJC、IT関係の会合に出席して声掛けをします。女性会員を増やしたいのでテニス同好会等の会員にもお逢いして、そのような団体を支部結成できるよう努力す
B地区ガバナー 平山 智雄	例会が楽しくなければ退会者が増えるので、各クラブとも｛楽しい例会」をして頂きたい。またASK１の運動、そしてクラブ内でも会員セミナーを実施していただきたいと思います。
C地区ガバナー 三島 英揮	ガバナ−諮問委員会やセミナ−等でスライドを用いてディスカッション等を行い会員増強について周知徹底を行っている。 ※7月～9月のMyLCI上では退会者53名だが、実際には年度末（6月）16名の退会者の報告を行っていなかったため、今期になって退会処理されたため、実数は37名である。
D地区ガバナー 大野 美雄	あらゆる機会をとらえて増強を督励する。期間後半での退会防止を呼び掛ける。楽しいライオンズライフが送れるよう、親子クラブ、近隣クラフとの交流を奨励する。
336複合地区 GMTコーディネーター 真鍋 隆	各ガバナーの目標を達成する為に支部作りや女性会員増強にチャレンジして下さい。又、退会防止には「会員種別」を活用し、ガバナー・ 地区役員・地区委員・クラブ会長・クラブ会員委員長が責任をもって、クラブの為に会員増強・維持に真剣に取り組んで下さい。

2021-2022 年度

第 6 回 8 複合 GST コーディネーター会議　議事録

日時　：　2022 年 3 月 23 日（水）　　10：00～12：00

場所　：　WEB 会議（Zoom）

【出席者】

GAT 日本全域リーダー／元国際理事	L 中村　泰久
GAT エリアリーダー(GST 担当)	L 識名　安信
330 複合地区 GST コーディネーター	L 井田　渉
331 複合地区 GST コーディネーター	L 松浦　淳一（欠席）
332 複合地区 GST コーディネーター	L 岸　　秀年
333 複合地区 GST コーディネーター	L 田中　勝司（欠席）
334 複合地区 GST コーディネーター	L 浜島　清美（会議世話人）
335 複合地区 GST コーディネーター	L 江草　長史（11:00 で退席）
336 複合地区 GST コーディネーター	L 澤　　辰水（欠席）
337 複合地区 GST コーディネーター	L 高橋　抒見（欠席）
OSEAL 調整事務局事務局長	マーズ佐子
OSEAL 調整事務局 GAT スペシャリスト	畠山　直子

１．開会　　8 複合 GST コーディネーター会議世話人　L 浜島清美

・開会の宣言。

２．出席者紹介　　8 複合 GST コーディネーター会議世話人　L 浜島清美

・会議資料の出席者一覧のとおり。

・331 複合地区 GST コーディネーター　L 松浦淳一、

・333 複合地区 GST コーディネーター　L 田中勝司、

・336 複合地区 GST コーディネーター　L 澤　辰水、

・337 複合地区 GST コーディネーター　L 高橋抒見の 4 名が欠席した。

３．ＧＡＴ日本全域リーダー挨拶と報告　GAT 日本全域リーダー／PID　L 中村　泰久

３／16 福島県沖地震のお見舞いの言葉

第 2 回 GST フォーラムについて

４．ＧＡＴエリアリーダー挨拶　　GAT エリアリーダー　L 識名安信

３／16 福島県沖地震のお見舞いの言葉

第 2 回 GST フォーラムについて

５．議事録作成者指名

・MD332GST コーディネーターL 岸秀年が、議事録の作成を担当する。

６．協議事項

①第２回 全日本 GST フォーラムについて

１）会場および日程

識名エリアリーダーより、１回目を関東で実施したので、２回目は関西で開催したい旨発言があり、全員が賛同した。

そこで、３３５複合地区江草 GST コーディネーターより会場候補として４つの場所と料金見積が紹介された。使用料等は 60 万円前後、交通の便も大差なかったが、伊丹シティホテル以外はキャンセル料が大きく、各コーディネーターの意見はコロナで中止もありうるのでキャンセル料の比較的低く抑えられる会場が良いとの結論になった。会場を伊丹シティホテル決定し、料金を下げるためケーキとコーヒーのセットを無くしペットボトルのみにするよう江草コーディネーターに依頼した。結果会場費は¥402,500 となる見込み。また当会場の 6 月の予約可能日は 16 日（木）でしたのでその日に決定した。

＜会場＞　伊丹シティホテル　大宴会場（光琳）
兵庫県伊丹市中央 6-2-33
TEL 072-777-111

＜日程＞　2022 年 6 月 16 日(木)
受　　付：13:30
フォーラム：14:00～17:00

２）フォーラムテーマ

これより３３０複合地区井田 GST コーディネーターが議事進行者として指名される。

L 井田より、テーマを第１回と同様『拡げよう感動の奉仕 ～いまライオンズクラブができること～』したい旨発言があり、全員の賛同を受けそのように決定した。

＜開催趣旨＞

井田フォーラムリーダーより次の３点が趣旨として紹介され、全員の了解を得た。

・多クラブの活動事例から、自クラブでできることを考えだす機会とすること。

・多クラブが連携し、より大きなインパクトのある合同アクティビティを実施する契機とすること。

・地域社会への貢献→会員満足度の向上→会員維持→リーダーシップの発掘→会員増強・新クラブ結成 という成功イメージを醸成し、GMA の取り組みへ繋げること。

＜フォーラムプログラム＞

（１） 基調講演

山田 PIP のご出席を考え２０分程度の基調講演を井田フォーラムリーダーから提案があったが、時間が足りなければかつあいしても良いのではとの意見あり、中村 GAT 日本全域リーダーから、1 回目に山田 PIP の講演をいただいているので、もし出席いただける場合は「挨拶だけでも良い」との了承をいただいた。

また、識名 GAT エリアリーダーから「この時間に LCIF 交付事業についてオセアル事務所より説明をいただいたら」との提案があり皆の了解を得たので組み込むことにした。

（２） アクティビティ好事例紹介

・前回フォーラムで提出された「実行宣言」で今期中に実施予定とされたアクティビティの進捗及び実施報告

・LCIF 交付金事業の好事例

※紹介数は３～４クラブ程度。方式は前回と同様のインタビュー方式か？動画作成の出来るメンバーの協力による紹介動画の放映等が井田フォーラムリーダーから提案されたがこの場では決定されず、最終決定は識名 GAT エリアリーダー・浜島 GST 世話人・井田フォーラムリーダーに任された。

（３） グループディスカッション

「あなたの地域の奉仕ニーズは？」

「今、ここから始めよう！合同アクティビティ計画」 などなど

以上２点が井田フォーラムリーダーから紹介されたが、コーディネーターから特に意見・異論はなかった。

３）参加対象者

＜参加対象者＞

・協議会議長　・地区ガバナー　・ガバナーエレクト　・第２副地区ガバナー

・地区 GST コーディネーター　・クラブ会長　・クラブ第１副会長

・クラブ奉仕委員長

以上の提案が井田フォーラムリーダーから提案があり全員の了承を得る。

＜参加費＞

・２，０００円

※Ｗｅｂについては視聴のみの参加とする（ディスカッション無し）

中継のための業者手配がいらないので、参加費は無料とする。

以上の提案が井田フォーラムリーダーからあり、反対意見もなくそのように決定した。

＜参加動員＞

総数　２００名

MD３３０　４０名、MD３３１　１０名、MD３３２　１０名、

MD３３３　１０名、MD３３４　３０名、MD３３５　５０名、

MD３３６　３０名、MD３３７　２０名

会場の収容能力を鑑みると、３５０名まで受入可能（ソーシャルディスタンスの問題はあるが・・・）なので、上記割振りを超える参加を受け入れる方針でよいか？との提案が井田フォーラムリーダーの提案があり、特に異議もなかったのでそのように決まった。

４）Ｗｅｂ対応

・MD３３５および３３５－A地区のMＣＩＴ委員会に協力を要請する。

＜万一、対面での開催が困難となった場合＞

下記５．タイムテーブル（案）の内容の全てをｗｅｂ開催へ切り替えることも念頭におく必要があるかと思われる。その場合の、中継元及び中継のための協力者についても予め考え、協力者とともに打合せしておく必要がある。

この審議事項は、開催複合地区の江草ＧＳＴコーディネーターが本日途中退席のため後日連絡することとなった。

５）次第およびタイムテーブル（案）

司会者　８複合ＧＳＴコーディネーター会議世話人　Ｌ浜島　清美

１４：００

（１） 開会宣言　司会者＜1 分＞

（２） 役員紹介　※割愛？　司会者＜２分＞

（３） 役員挨拶　ＰＩＰ　Ｌ山田實紘＜3 分＞

ＧＡＴ日本全域リーダー　ＰＩＤ　Ｌ中村泰久＜3 分＞

（４） 挨拶及び趣旨説明　ＧＡＴエリアリーダー　Ｌ識名安信＜3 分＞

１４：１２

（５） アクティビティ好事例発表　インタビュー　Ｌ井田　渉＜40 分＞

１４：５２

（６） ＬＳＩＦ交付金事業について　OSEAL　　オセアル事務局＜15 分＞

～ 換 気 休 憩 ＜5 分＞～

１５：１２

（７） グループディスカッション　　＜６０分＞

１６：１２

（８） グループ発表　　＜４０分＞

（９） 講評　　ＰＩＰ　Ｌ山田實紘＜3 分＞

ＧＡＴ日本全域リーダー　ＰＩＤ　Ｌ中村泰久＜２分＞

ＧＡＴエリアリーダー　　Ｌ識名安信＜２分＞

１６：５９

（10）閉会宣言　　司会者＜1 分＞

※「５）次第およびタイムテーブル」は「２）フォーラムテーマ」の変更に合わせて記録者 L 岸がフォーラムリーダーのタイムテーブルを修正したもので、正式なものではありません。

②各複合地区報告

・MyLion 報告率についての現時点での状況を中心に下記の複合地区の GST コーディネーターより報告があった。

MD330、MD332、MD334

③その他

・オセアル調整事務局　GAT 畑山直子スペシャリストより

MyLion 報告率に関してレオクラブからの報告が少ないので報告するよう指導のこと。親クラブとレオクラブの名称が同じ場合で報告率が５０％となっているときは親クラブかレオクラブのどちらかが報告していない場合です。

・オセアル調整事務局　事務局長マーズ佐子局長より

“KMSA FINAL Winners Doc 2020-2021_JA”を各地区・クラブに周知してアイディアを共有してください。

“レオクラブと若手ライオンズ”について

“奉仕の写真やビデオを共有”　地区やクラブが奉仕の様子を撮影した写真やビデオをオセアル事務局に提供してください。国際協会がライオンズの PR に利用します。特に LCIF とのコラボ、アドボカシーに関するもの大歓迎。

・GAT 日本全域リーダー中村 PID より

“「思いやりは大切なこと」奉仕アワード”に応募いただきました全クラブに感謝状を差し上げます。各複合事務局に記入シートをお送りしますので、記入の上 GAT JAPAN へ返送ください。

“「レオを育てる」のは昔から GST の役目です。レオを育てて、会員を増やしましょう。”

・フォーラムリーダーL 井田より

“「レオクラブを作る」→会員増”ならばフォーラムで話を聞く価値がありますね。

“写真でプロモーション”ならば奉仕のフォトコンテストも考えられますね。

・8 複合 GST 世話人浜島および MD332GST コーディネーターより

「思いやりは大切なこと」奉仕アワードを MD 内のクラブ及びレオクラブが受賞した報告とお礼を述べた。

7．閉会挨拶　　GAT エリアリーダー　L識名安信

閉会宣言（お疲れさまでした。）

議事録作成人　**L 岸 秀年**

一般社団法人　日本ライオンズ
2021-2022 年度　第 5 回 YCE 委員会【WEB 会議】要録

内部資料

◎日時：2022 年 4 月 25 日（月）13:30－15:15
◎場所：各 PC から接続（ウェブ会議接続システム Zoom 利用）
◎出席者：
一般社団法人日本ライオンズ

委員長（MD334 議長）	山 本　基 博	（334-B 地区　恵那 LC）
委員（MD330YCE 委員長）	青 木　秀 茂	（330-A 地区　東京吉祥寺 LC）
委員（MD331 YCE 委員長）	大 澤　勝 雄	（331-B 地区　釧路ぬさまい LC）
委員（MD332 YCE 委員長）	髙　堂　裕	（332-F 地区　秋田中央 LC）
委員（MD333 YCE 委員長）	小　吹　勇	（333-E 地区　石岡 LC）
委員（MD334 YCE 委員長）	加藤　万寿夫	（334-B 地区　土岐織部 LC）
委員（MD335 YCE 委員長）	吉 川　二 郎	（335-C 地区　奈良 LC）
委員（MD336 YCE 委員長）	高　橋　淳	（336-C 地区　広島デルタ LC）
委員（MD337 YCE 委員長）	北　由 美 子	（337-D 地区　鹿児島第一 LC）

オブザーバー：

333 複合地区 YCE 特別委員	大久保　雄 司	（333-E 地区　水戸 LC）
一般社団法人日本ライオンズ		
理事長	仁 科　良 三	（334-E 地区　長野みすず LC）
事務総長	菅 原　雅 雄	（330-A 地区　東京堀留 LC）

◎ 本日の出席者確認及び進行について

- 山本委員長は開会を宣言し、出席者は配布資料による確認とした。
- 山本委員長は MD 333 大久保雄司 YCE 特別委員のオブザーバー参加を許可した。
- 仁科理事長はあいさつをした。

（仁科理事長）

- 今日は長野からあいさつをします。約 2 年 YCE 事業が行われていないが「花の咲かない時は根を伸ばせ」として、内容の充実に着手して、ヨーロッパ各国の通信交渉窓口についても各 MD で分担していただいたりして、全体で動いていると感じている。今まで MD334 はヨーロッパ各国と多くの交換をしており、せっかく培ってきた経験を全体で分かち合った方がよいと思います。日本ライオンズに窓口を統一して各国と交渉することが出来るかどうかも含め、今後、検討する余地があると思います。私はもう一年日本ライオンズの役員として残ります。そこで政府との窓口としての役割をしていくことになるかと思います。例えば文部科学省や厚生労働省などと「いろいろな包括協定を結んでいますが、一年を計画的に運営していくことが大切と考えています。また、日本ライオンズとして会議システムを始めライオン誌、各ホームページ、会則、ライオンズ必携、会計システム、サバンナ、MyLion、MyLCI 等々、IT 化を整備していく必要があると思います。YCE に話を戻すと全日本レベルでの交換や YCE・OB との繋がり

やレオとの連携などを発展させていくとより活性化するのではないかと思います。この 4 月 1 日から成人年齢が 18 歳になり、ライオンズクラブに入会可能になります。文科省との折衝を通してボランティア活動が大学の単位取得や入学に優位になるような仕組みも作っていきたいと考えています。青少年を軸に置いた時に YCE 事業もその中心となり、将来を見据えて活動していただきたいと思います。日本ライオンズは安全にモントリオール国際大会参加していただくよう準備をしておりますので、是非、国際大会に参加してください。最後に YCE は私のライオンズ活動の源でもありますので、皆さんには感謝をし、また期待をしています。

- 山本委員長はあいさつをした。

（山本委員長）

- 私が所属しています 334-B 地区の年次大会が昨日、リモートで開催され、私は自宅から参加しました。本委員会は昨年の 9 月に第 1 回の会議を開催しましたが、第 1 回の初顔合わせからウェブでのスタートとなり、通常とは異なる開催になったと認識をしています。対面での会議も含め今回で第 5 回目の会議となりましたが、皆様から前向きな意見をいただき、制度の整備は少し前に進めることが出来たと認識しており感謝しております。本日は 5 つの議案を用意しております。皆様のご意見をいただきながら進めていきたいと思います。

◎ 議事録作成人の指名

- 山本委員長は加藤委員（MD334）と吉川委員（MD335）を議事録作成人に指名した。

◎ 前回の要録の確認

- 山本委員長は前回の要録を確認した。

◎ 議案

１．2022 年冬期交換について

- 山本委員長は 6、7 月あたりから 2022 年冬期交換についての予備調査が始まる地区もあり、2022 年冬期交換実施の有無を次年度の委員会への申し送り事項としてとりまとめしたいとして各委員の意見を求めた。その結果、コロナウイルス感染症および世界情勢を考慮し、2022 年冬期交換は実施しないことを次年度に申し送ることとした。

２．ヨーロッパ地区対象国の担当窓口について

- 山本委員長はヨーロッパ地区対象国の担当窓口について本委員会第 4 回会議にて未承認であった MD333 小吹委員に承認の有無を尋ね、小吹委員（MD333）は承認した。また、山本委員長は交換事業の無い期間を利用して準備をするよう各 MD へ依頼した。

３．ヨーロッパ各国への連絡について

- 山本委員長は加藤委員（MD334）に「ヨーロッパ各国への連絡」について説明を求め、加藤委員（MD334）は資料 2 を示し、5 月開催予定のヨーロッパ YCE 委員長会議（ウェブ）において「日本ライオンズ YCE 海外交渉通信窓口制度」および「新しく担当することになる交渉通信担当 MD」の説明資料について各委員の意

見を求めた。

- 髙堂委員（MD332）は新しく担当することになった交渉通信対象国から連絡がくることから始まるかどうかを尋ね、加藤委員（MD334）は新しく担当することになった国から連絡が来ると返答した。
- 山本委員長は各委員に資料 2 についての承認を各委員に求め、全委員の承認を得た。

４．過去 3 年間交換実績の無い国（地域）の扱いについて

- 山本委員長は青木委員（MD330）から「過去 3 年間交換実績が無い国」について整理をしてはどうかとの提案について各委員の意見を求めた。
- 北委員（MD337）は下記の意見を述べた。
  - 前年度、協議した結果、交渉窓口国を減少させることによって交換の機会が減少するという理由により過去実績が無い国もこのまま残すこととした。交渉窓口国リストから削除した国について再度、交渉を再開する場合の手続きが困難であれば、リストには残すべき。
- 高橋委員（MD336）は下記の意見を述べた。
  - MD336 はマサチューセッツを担当地域としており、ある年に来日したいとの連絡があり対応した。交渉窓口国としてリストにあっても、現実は全部の国と交渉している訳では無く、交換の事由が発生した時に交渉をし、業務負担は多く無いため、リストには残すべき。
- 加藤委員（MD334）は下記の意見を述べた。
  - 「過去 3 年間交換実績が無い国」について、個々の国について派遣可能、不可能のルールを決めるのであればリストに残しておいても問題は無い。
- 大澤委員（MD331）は下記の意見を述べた。
  - 交換の間口が広がるのでリストに残しておいた方がよい。YCE は交換事業なので、「派遣だけ」「来日だけ」というルールは決めない方がよい。
  - 担当 MD が「過去 3 年間交換実績が無い国」と今後、交渉する意思が無い場合はリストから削除すべきである。
  - MD331 は派遣を希望する国を 3 ヵ国くらい選んでもらい、派遣先を調整している。そして、希望する国に派遣出来ない場合もあることを事前に伝えている。
- 青木委員（MD330）は下記の意見を述べた。
  - 日本の学生がリストにある「過去 3 年間交換実績が無い国」に行きたいと希望した場合、その担当 MD は必ず交渉してくれるのかどうかが問題であり、担当 MD が全く交渉をしないのであればリストに残しておく弊害の方が大きい。担当 MD が必ず交渉をするのであればリストに残しておく意味はある。この提案をした理由は、リストにある「過去 3 年間交換実績が無い国」について、リストに載っているだけで機能していないと感じたためである。
- 山本委員長は交換事業として担当 MD が交渉するのであれば、「過去 3 年間交換実績が無い国」をリストに残し、交渉する意思が無いのであればリストから削除すべきであるという論点での意見を各委員に求めた。

- 吉川委員（MD335）は下記の意見を述べた。
  - MD335 はリストにある「過去 3 年間交換実績が無い国」を多く担当しているが、メールを送っても返信が無い「没交渉」の国（地域）はリストから削除してもよいと考える。
- 北委員（MD337）は各 MD が担当する「過去 3 年間交換実績が無い国」に対して交換の可能性があるかどうかの確認のメールを送り、交渉可能かどうかの調査をして、その上で再度、本委員会会議にて協議してはどうかと提案をした。
- 髙堂委員（MD332）は下記の意見を述べた。
  - 一度でも交渉をした国（地域）であれば、リストに残しておくべき。
- 山本委員長はこの事業を発展させていくことを前提として、「過去 3 年間交換実績が無い国」について、今後も交渉の可能性が無い国（地域）はリストから削除し、将来、派遣・来日の希望があった場合は必ず交渉することを前提にリストに残してはどうかとの提案があった。
- 吉川委員（MD335）は上記、山本委員長の提案について、MD335YCE 委員会および事務局と相談したいとした。
- 山本委員長はこの議案について各 MD で方針を検討し、次回会議で再度、協議をすることとした。

５．（一社）日本ライオンズ YCE 委員会資料の修正について

- 山本委員長は加藤委員（MD334）に「（一社）日本ライオンズ YCE 委員会資料の修正について」説明を求め、加藤委員は資料 4 の「幹事旅行代理店業務（例）」の「16 項」の削除と改訂日付 2022 年 4 月 25 日を提案し了承を得た。

６．その他

- 山本委員長は海外交渉通信窓口業務に関しての意見や質問等を次回会議までに文書にて送るよう各委員に依頼し、次回会議は対面にて協議することとした。

次回委員会会議：

✧ 日時：2022 年 6 月 13 日（月）13 時 30 分～16 時
　場所：（一社）日本ライオンズ事務所

2022 年 5 月 6 日

議事要録作成人：

YCE 委員（MD334）加 藤 万 寿 夫

YCE 委員（MD335）吉　川　二　郎

No.	現地参加								クラス	日本発	経由	日本着	経由	後泊	
1	○	KNT	広島ニュー	福永 栄一	MR.	EIICHI FUKUNAGA	ガバナー協議会 議長	現地参加	C	6月24日	YYZ	6月28日	YVR	×	
2	○	KNT	出雲中央	福代　明正	MR.	AKIMASA FUKUSHIRO		現地参加	往路プレエコ復路C	6月24日	YVR	6月30日	YYZ	6/30SGL	
3	○	KNT	高松源平	蔵本 公好子	MS.	KIYOKO KURAMOTO		現地参加	往路Y復路C	6月24日	YVR	6月30日	YVR	6/30 TWN	ホテルはご自身でシェラトン予約
4	○	KNT	高松源平	蔵本 守雄	MR.	MORIO KURAMOTO	地区ガバナー	現地参加	往路Y復路C	6月24日	YVR	6月30日	YVR	6/30 TWN	ホテルはご自身でシェラトン予約
5	○	KNT	倉敷西	渡部 雅文	MR.	MASAFUMI WATANABE	国際理事	現地参加	C	6月17日	YVR	7月1日	YVR	7/1 TWN	国際理事　AIRのみ
6	○	KNT	倉敷西	渡部 惠子	MS.	KEIKO WATANABE		現地参加	C	6月17日	YVR	7月1日	YVR	7/1 TWN	国際理事　AIRのみ
7	○	KNT	宇部かたばみ	波多野 知三	MR.	TOMOMITSU HADANO	次期キャビネット会計	現地参加	Y	6月24日	YVR	6月30日	YVR	6/30SGL	
8	○	KNT	宇部かたばみ	山﨑 勉	MR.	TSUTOMU YAMASAKI		現地参加	Y	6月24日	YVR	6月30日	YVR	6/30SGL	
9	○	KNT	徳山	椎木 一三	MR.	ICHISO SHIINOKI		現地参加							AIRは自己手配
10	○	KNT	徳山	椎木 真由美	MS.	MAYUMI SHIINOKI		現地参加							AIRは自己手配
11		TC	KNT	金子　愛梨佳	MS.	ERIKA KANEKO	※近畿日本ツーリストスタッフ	現地参加	Y	6月23日	YVR	6月30日	YVR	6/30SGL	
12	○	登録代行	津山衆楽	山田 隆嗣	MR.	TAKASHI YAMADA	キャビネット幹事	現地参加							
13	○	登録代行	津山衆楽	山田 典江	MS.	NORIE YAMADA		現地参加							ご家族
14	○	登録代行	津山衆楽	山田 佳子	MS.	KEIKO YAMADA		現地参加							ご家族
15	○	登録代行	宮島口	三口 巌	MR.	IWAO MIGUCHI	第二副地区ガバナー	現地参加							近畿日本ツーリストより登録のみ代行　阪急交通社利用
16	○	登録代行	福山久松	池原　堅	MR.	KATASHI IKEHARA	次期ガバナー協議会　議長	現地参加							近畿日本ツーリストより登録のみ代行　阪急交通社利用
17	○	登録代行	津山鶴山	平山　徹	MR.	TORU HIRAYAMA		現地参加							
18	○	登録代行	津山鶴山	金田　長之	MR.	NAGAYUKI KANADA		現地参加							
19	○	登録代行	津山鶴山	金田　淑美	MS.	YOSHIMI KANADA		現地参加							ご家族
20		登録代行	松山西	澤田　有馬	MR.	YUMA SAWADA		バーチャル							登録のみで現地参加はされない
21		バーチャル	松山西	菅野　成彦	MR.	NARUHIKO KANNO		バーチャル							
22		バーチャル	高知南	溝渕 義雄	MR.	YOSHIO MIZOBUCHI		バーチャル							
23		バーチャル	松山湯築	管 武廣	MR.	TAKEHIRO KAN		バーチャル							
24		バーチャル	松山湯築	高岡 英治	MR.	EIJI TAKAOKA		バーチャル							
25		バーチャル	津山鶴山	平山　智雄	MR.	TOMOO HIRAYAMA		バーチャル							
26			岡山みらい	藤井 信英	MR.	NOBUHIDE FUJII	第二副地区ガバナー	バーチャル							
27	○		鴨島	市村 通夫	MR.	MICHIO ICHIMURA	第一副地区ガバナー	現地参加							FVDG/DGE専用登録用紙にて登録済
28	○		鴨島	市村 俊枝	MS.	TOSHIE ICHIMURA		現地参加							市村通夫336-A第一副地区ガバナー配偶者（家族会員）
29			東予	佐藤 公平	MR.	KOHEI　SATO		バーチャル							
30	○		三原	弓場　秀俊	MR.	HIDETOSHI YUMIBA	第一副地区ガバナー	現地参加							
31	○		三原	弓場　令子	MS.	REIKO　YUMIBA		現地参加							ご家族
32			三原	吉井　秀幸	MR.	HIDEYUKI　YOSHII	次期キャビネット幹事	バーチャル							
33			小田	山崎もとみ	MS.	MOTOMI YAMASAKI	第二副地区ガバナー	バーチャル							
34	○		宇部かたばみ	中島　繁	MR.	SHIGERU NAKASHIMA	第一副地区ガバナー	現地参加							FVDG/DGE専用登録用紙にて登録済
35	○		岡山ハーモニー	有本　みどり	MS.	MIDORI ARIMOTO	MD336 SPC/FWTｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ・西日本世話人	現地参加							個人手配

現地参加 24名（6/7現在）

登録のみ（バーチャル録画視聴参加）10名

第104回　モントリオール国際大会
MD336の夕べ

★2022年6月26日（日）18:00～19:30

★場所：「Vargas Steakhouse」

登録料　お一人様＠16,000円（飲み物代込み）

※指定メニュー以外の飲み物は別途料金となります。

◆**場所**：オフィシャルコースお申込みの方ご利用ホテル(Fairmont The Queen Elizabeth)から徒歩約3分。
◆**住所**： 690 René-Levesque Ouest,Montréal , QC, Canada, H3B 1X8
◆**料理**：コース料理
◆**飲み物**：カナダは飲み放題という制度がないため、指定メニューよりお一人様3杯程度のお飲み物をご用意いたします。不足が出た場合現地でご参加者様一律の追加集金をさせていただく可能性がございますので予めご了承ください。

メニュー（例）
- サラダ
- パン
- ローストプライムリブ
- デザート

飲み物メニュー（例）
- ビール
- ワイン（赤）
- ウィスキー
- ソフトドリンク

※お肉が食べられない方は、申込時にその旨お伝え下さい。魚料理に変更いたします。
※6月17日以降のキャンセルは、全額キャンセル料が発生いたしますのでご了承下さい。

★料理・会場等の写真はイメージです。当日は内容が異なる場合があります。

ライオンズクラブ国際協会MD３３６
アラート委員会活動規定（案）

▫アラート活動理念　▫組織体制　▫活動規定　▫啓発活動

MD３３６地区アラート委員会活動理念

・ライオンズクラブが掲げる　「We　serve　我々は奉仕する」の名において自然災害における日本国内（地区内外）に対し人道支援を目的に活動する。

・被災地ファーストを守り「すべては被災地・被災者の為に」を念頭において行動する。

・被災準地区で取決めされた災害支援受援プランに基づき後方支援をする。

・各準地区に対し県社会福祉協議会や支援団体との締結を促進させる。

・各準地区に対し複合が行うべき啓発活動を行い日頃からの「備え」を行う。

・準地区のアラート規定の指針となる様、委員会の活性化を図る。

【組織体制】

第一項　　名称・定数

ＭＤ３３６地区におけるアラート委員会組織に関して下記の通りの名称と人員を定める。

アラート委員長　１名　／アラート副委員長　２名　／アラート実働委員　４名

アラート実働副委員　４名　／アラート運営委員　４名　／アラート運営副委員　４名

第二項　　職務と任期

❖アラート委員長

１）日本アラート委員会ＭＤアラート委員を兼務するのが望ましい。

２）被災地区の支援レベル判定に応じてＭＤ後方支援対策本部の責任者を担う。

３）災害レベル判定に応じて日本アラートへの後方支援要請。

４）日本アラートでの決定事項や最新の情報等を準地区に伝え日本アラートとのパイプ役を担う。

５）任期は上限３年とし再任は妨げない。

６）複合地区内においてのアラート活動の啓発事業としてのフォーラム・セミナーを開催する。

７）年数回アラート委員会会議を開催し平時から組織の強化目的として連携・啓発・実務シミュレーションを行う。

❖アラート副委員長

１）日本アラート委員会ＭＤ班長(西エリアリーダー)を兼務するのが望ましい。

２）委員長を補佐し後方支援活動を側面から支える。

３）任期は上限３年とし再任は妨げない。任期終了後 MD アラートアドバイザとして１年任期を務める。

４）被災地区に対して支援プランのサポートや活動におけるパートナー役として活動する。

❖アラート実働委員・副委員

1）アラート実動委員は準地区のアラート委員長が務め日本アラート委員会のMD副班長を兼務するのが望ましい。

2）任期は上限３年とし再任は妨げない。

❖アラート運営委員・副委員

1）アラート運営委員は災害時に物資調達・資金管理・経費管理等を行い災害対策本部の運営に重視する。

2）任期は上限３年とし再任は妨げない。

【活動規定】

第一項　　災害時における支援内容及び支援・受援体制（複合地区内での災害時）

１）被災準地区のレベル判定によりＭＤアラート委員長・ＭＤ議長・ＭＤアラート副委員長

ＭＤアラート実働、運営委員を招集し被災地区へのＭＤ後方支援会議を開催する。

※後方支援会議

・後方支援内容の取決め・活動資金及び支援に関わる費用予算の取決め・ＭＤ後方支援対策本部設置の可否・本部設置に向けたプラン（場所・条件・費用等）の作成。

・災害規模が複数の地区である場合被災地区ガバナーを招集し後方支援プラン策定に努める。

２）被災地区の打ち出すレベル判定に基づいて準地区より要請があった場合日本アラート委員長との連携も図り後方支援を強化する。

３）支援活動の一環として受援活動も必要に応じて行う。

４）複合地区外での被災時、被災地区ＭＤと連携をとり支援プランに基付き後方支援する。

５）被災地区への支援アドバイザーとしてＭＤ副委員長・ＭＤ実働委員を派遣する事が出来る。

ＭＤ緊急災害支援金が必要となる場合はMD議長の了承を得て実行する。

第二項　　ＭＤ後方支援対策本部設置規定及び役割

１）本部の最高責任者はＭＤ議長とし、運営責任者はＭＤアラート委員長とする。

２）本部の設置にあたり場所・条件・備品購入等の取決めはＭＤ後方支援会議で取り決める。

３）本部の人事は委員会で構成し委員長が運営プランを作成し議長の許可を得て運営する。

４）支援金の受入れ口座開設に関しては議長と協議の上必要に応じて開設するが基本支援金は地区の受入れ口座を主とする。

５）災害レベル３以上（日本アラート・複合アラートの後方支援が必要時）の場合アラート委員長は議長の許可を得て日本アラート後方支援策定会議に参加し被災地の現状を報告し的確かつ効果的な後方支援が行えるよう努める。

６）本部は日本アラートからの支援をより効果的にする為に常に情報発信し被災地ファーストを心がける。また地区が申請するＬＣＩＦ交付金の申請手続きのアドバイス等を行う。

7）支援金・物資等は被災地区災害支援対策本部での取りまとめとなるがMDで直接取り扱う支援に関しては活動終了時委員会にて報告をする。

8）MD緊急災害支援金を支出した場合収支決算報告書を作成し委員会内で内容を精査し複合連絡会議へ報告する事とする。

収支決算書作成にあたり監査役を最低2名選任する（ガバナー協議会　会計）

第三項　　MDアラート委員会における支援・受援活動における禁止事項

1）他地区・他複合からの物資及び支援金は災害支援以外の目的に使用してはならない。

2）支援金・物資の協力願いは委員会名以外では要請してはならない。

【啓発活動規定】

第一項　　アラート普及活動

１）ＭＤ３３６内準地区アラート委員会に対し活動理念・規約・組織を浸透させ被災準地区の活動が円滑に出来る様務める。

２）ＭＤ主催のアラートフォーラムを年に一回開催する。

第二項　　社会福祉協議会・災害支援団体との提携

１）準地区と県・市・町・村レベルの災害協定締結を促進させる。

２）災害協定は地区の災害協定書を参照しアラート委員会で作成し常に精度向上を目指す。

３）社協だけではなく必要と応じた災害支援団体との災害協定も締結可能とする。

４）締結においては委員会で取りまとめし地区ガバナーに提案しキャビネット会議で承認されるものとする。

５）災害協定締結後もお互い密に連絡の取れる関係性を構築する。

第三項　　啓発活動における活動内容と予算経費

１）活動にあたり年度初めに活動内容・経費予算計画書を第一回委員長会議に報告しガバナーの承認のもと実行する。

２）必要経費は委員長に使用目的を報告し委員会予算内で実行できるものとする。

【災害緊急支援積立金規定】

第一項　災害緊急支援金の実行と報告義務

(1) ＭＤ３３６アラート規定　活動規定第一項 (4) 災害レベル判定に基づき支援プランを作成し必要に応じて支出する事が出来る。

(2) 当地区以外の地区内で発生した災害に対し複合アラート委員会より支援金要請があった場合上限２００万円を限度額として支出する。

(3) 上記以外の地区について援助要請があった時は１００万円を限度として支出するか、あるいはクラブ会員の自主的寄付金によって対応する

(4) 全ての支出に関しMD議長の承認が必要となる

(5) それぞれの支出額はアラート委員会で取りまとめしMD議長の許可を持って支出する。

但し、その後のガバナー協議会及び役員連絡会議で報告するものとする

第二項　災害緊急支援金積立

(1)　緊急援助積立金が支出により１０００万を下まわる場合には次期において特別会費の徴収をMD議長が考慮する

第三項　災害緊急支援金禁止事項

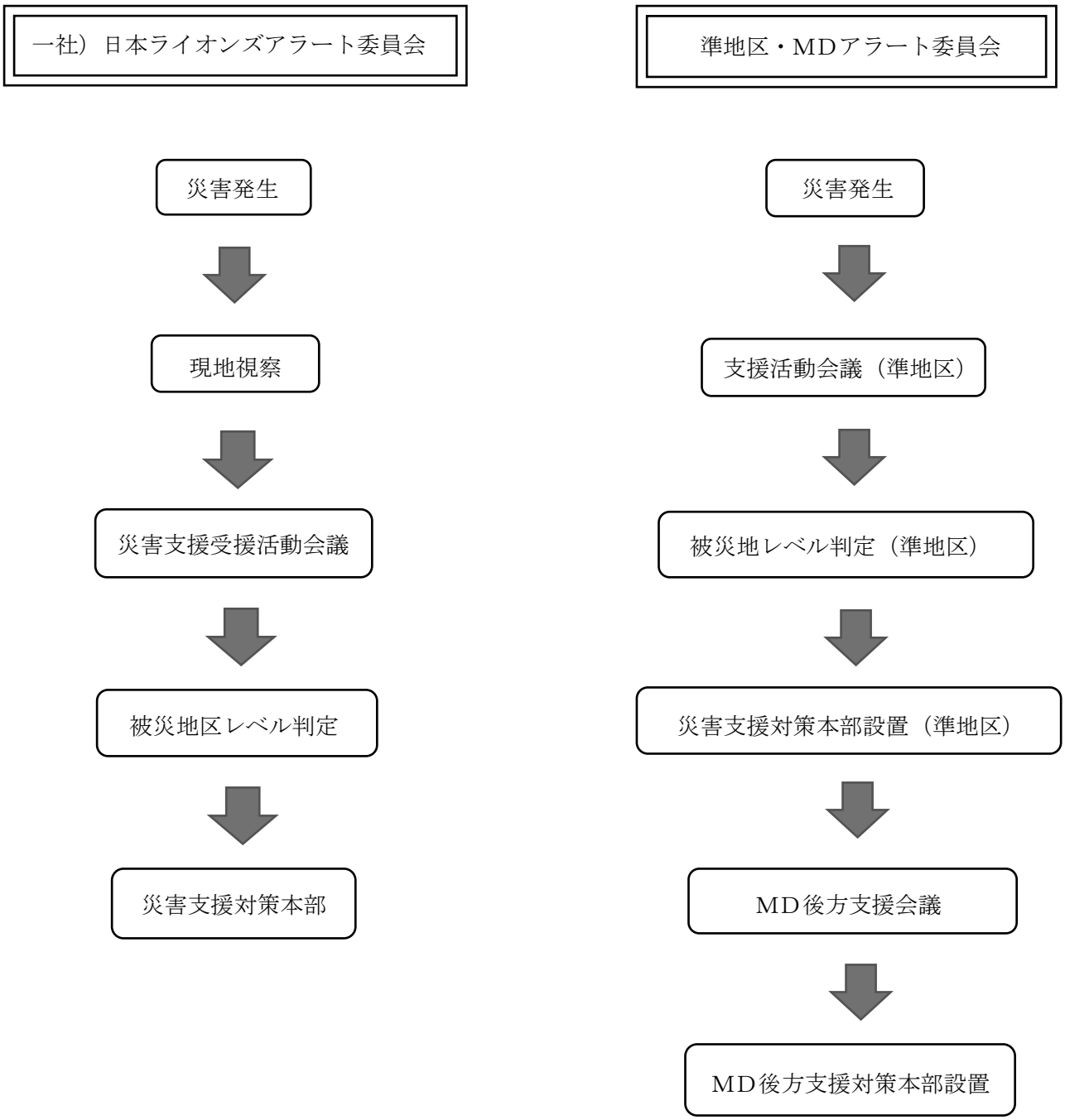
(1)　他の科目への流用は認められない。特別な事由で流用する場合はガバナー協議会の承認を得るものとする

第四項　災害緊急支援積立金の管理

(1) ＭＤ３３６緊急援助積立金の支出に関する基準はＭＤ３３６アラート規定に追記する。

(2) ＭＤ３３６特別会計での口座開設とし管理（入出金・決算）はMD会計とする

災害シミュレーション


一社）日本ライオンズアラート委員会
災害発生
現地視察
災害支援受援活動会議
被災地区レベル判定
災害支援対策本部
準地区・MDアラート委員会
災害発生
支援活動会議（準地区）
被災地レベル判定（準地区）
災害支援対策本部設置（準地区）
MD後方支援会議
MD後方支援対策本部設置

２０２１－２０２２年度 一般社団法人日本ライオンズ
第７回アラート委員会(対面・web 会議) 議事録

委員会内部用

日時 ２０２２年４月２６日(火) 15：００～17：00 日本ライオンズ事務局・zoom
参加者：別紙名簿
議事録作成人 MD３３４アラート委員会班長　　L．西村 和之
議事録署名人 日本ライオンズアラート委員長　　L.山川 洋・事務局
司会者：MD333 アラート委員会班長　　L．若林 純也

協議事項：

① アラートライン新設
② 福島県沖地震災害支援報告
③ 災害時のマニュアルについて
④ ウクライナ支援について
⑤ その他
⑥ アラート委員・班長・副班長からの報告

１． 開会挨拶

東日本統括リーダー L．橋本 修一

久しぶりのリアルな会議です。よろしくお願いします。

２． 出席者確認・議事録作成人・署名人の確認

司会 MD333 班長 L.若林 純也
・出席者確認が行われた。
・議事録作成人は MD334 班長L.西村和之を指名
・議事録署名人を山川委員長に確認する

３.理事長挨拶　一般社団法人日本ライオンズ理事長L.仁科 良三（遅参）

所要の為遅れました。日頃から委員会活動や福島県沖地震などでも支援活動をして頂き、ありがとうございます。即効性のある動きをして頂いた事はこの日本アラートの活動のおかげだと思います。地区・複合・日本ライオンズのアラート委員会が日々活動していくことが大事だと思います。
その為のマニュアル作りが重要です。本当に皆様にはご苦労をおかけしています。お礼が言いたくて急遽県庁から帰ってまいりました。ありがとうございました。

４．委員長挨拶　日本ライオンズアラート委員会委員長 L．山川 洋

今少しずつ日本ライオンズも進んでいますが、その中で各議長が次期委員長を引き続き担当され新議長は副委員長を担当する。（１年間研修期間をつくる）
副委員長の後に委員長を担当することでより良い委員会運営に繋がると感じます。
その他の委員・班長をこのアラート委員会でも複数年担当していく仕組みを作っていきたいと思います。
福島の地震支援については参考事例としてスムーズな流れを形にしていきたいです。
ガバナーエレクトも揃ったので、６月中に準備会議を開き来季の議長・役員を決め理事会・総会を７月中旬からスタート出来るようにしていきたい。このアラート委員会も６月中に引き継ぎをして７月から私も委員長を留任しますので同じように進めていきたいと思います。
本日は、佐々木委員・木村副班長から提案を提出していただいてます。
また、緊急時の為の LINE だけでは無く皆さんが何でも言えるプライベートな LINE も作っていきたいです。
本日はよろしくお願いします。

５．協議および報告

一般社団法人日本ライオンズアラート委員長Ｌ．山川 洋

１　アラートラインについて

アラートラインを新設したいと思います。プライベートなアラートラインです。
どなたでも参加できる親しみのあるラインを新設したいです。
名前は何かいい名前はないですか？

MD３３０アラート委員Ｌ．森川 明治郎

名前はアラートコミュニティラインでどうですか？

一般社団法人日本ライオンズアラート委員長Ｌ．山川 洋

それがいいですね。アラートコミュニティラインに決定します。森川委員を中心にお願いします。
今回アラート災害対策本部を立ち上げました。ルールに組み込んでいきたいです。福島の地震災害にも色んな所から要請の質問が来ました。そのような為に早めの対応にも使えるようなリアルな LINE にしていきたいと思います。

２　福島県沖地震災害支援報告について　　東統括リーダーＬ．橋本修一

３月１６日午前１１時３１分福島県沖震度６強・弱がありました。３３２-D地区第２副地区ガバナーから連絡を頂く。瓦屋根が多いため地震で落ちている所が多い。次の日が雨の予報の為ブルーシートが欲しいとの要請がありました。至急の要請でありましたが、３３２E 地区の山下班長に連絡を入れました所、ブルーシートなどの備品はあります。との返事を頂き即日相馬の市役所にブルーシート２４０枚・土嚢袋１０００袋・ロープを搬入してもらいました。３３２－D地区澤副委員長が現地に入り１時間おきに現場情報を入れ必

要な情報を入手できた。被災者が高齢なため屋根に上がる人材確保が難しいと連絡が入る。そこで高校生にお願いして活動をして頂いた。
色んな情報がくる中で、リアルな情報を集約する事の対応が経験できました。
支援物資は合計でブルーシート５００枚・土嚢袋１０００袋・ロープ 1,000ｍ合計 120 万円分。330-A 地区から支援金 575,000 円ありました。その内 470,000 円ははしごの要請があり購入。支援として配りました。詳しい内容は後日報告します。一般社団法人日本ライオンズアラート委員長Ｌ．山川 洋福島県沖地震での対応について反省点もありますが、おおよその対応に不備などはなかったと思います。
さらにより良い組織になるよう精査していこうと思います。

3　**災害時のマニュアルについて　　一般社団法人日本ライオンズアラート委員長Ｌ．山川 洋**

MD３３５佐々木委員そして３３２-A 地区木村副班長から資料が出ています。
説明をお願いします。

MD３３５アラート委員Ｌ.佐々木健太

『受け皿無くして支援はできない』現地では素早く災害対策本部を発災日、もしくは翌日に立ち上げてほしい。現地の委員会の中には、物資・資金・会計と複数の担当をつけて対応するのが望ましいと考える。次年度の７月にはこの担当を決めておくことが重要です。

MD３３２副委員長Ｌ.木村 知紀

別途資料には今までの活動経験・日本アラート・MD での話をベースに作りました。
アラート活動理念・組織体制・活動規定・災害支援積立金をその都度改めながら指針としていきたい。３３２－A では承認されました。
また、他の MD の中でも必要なところは利用してください。
緊急初動は即決が大事です。複合・日本 LC がレベル判断している間に被災者は被害が拡大します。
早い対応は被災者の為の行動です。準地区が複合の判断待ち。複合が日本アラートの判断待ちをしている間に被災者が困る事態になる。それに対応できるのが日本アラート委員会実働部隊である準地区・複合のアラート班長・副班長の連絡網です。近隣のクラブやゾーン・地区がまず対応がとれるスタンスでいれる様に準備しておくことが重要です。

MD３３５アラート委員Ｌ.佐々木健太

332－A 地区からの資料を参考にして、各委員・班長が MD の中で検討して各 MD に順応した資料をつくり、この日本アラート委員会でまた発表してください。委員会の中で日本の標準マニュアルを作っていきたい。
そして、今までの日本アラート委員長や、統括リーダー経験者の方たちは、アドバイザーや、シニアアドバイザーとして、委員会に残っていただきたい。皆さんの拍手を頂く。

MD３３２アラート委員Ｌ.木川田明弘

準地区排出の委員長と日本アラートの役が重複されていると、発言が何処の立場の発言かわかりにくい。

MD３３５アラート委員Ｌ.佐々木健太

被災地区のガバナーや準地区内委員長は実際に動かれる方です。準地区と複合の重複は望ましくないと考えます。

MD３３０アラート委員Ｌ.森川明次郎日本

ライオンズアラート委員会が作った基準は標準版として各８複合や準地区がアレンジしていければ良いかなと思います。わかりやすい標準版があればよい。

一般社団法人日本ライオンズアラート委員長Ｌ．山川 洋

森川委員からの提案があり、日本ライオンズの委員長は精通された方(ガバナー未経験者)が出ればいいという意見が出ましたが、まだ時期尚早という事で、これからの日本ライオンズ理事会に期待したいです。このコロナ過の中、普通にリアルで話が出来ていればもっと進んだ内容になっていた事と思います。

佐々木委員・木村副班長ご苦労様でした。

4　**ウクライナ支援について**

ケンタッキー竜巻では、LCIF から要請があり日本ライオンズ理事長名そして日本アラート委員長名で、支援金を各地区に要請した所５０万ドル集まりました。今回のウクライナ支援には LCIF 理事から説明はありましたが、日本アラート委員会には無く、そのうちに準地区に支援要請がありました。いくら要請が集まったかは知りません。LCIF との距離感が遠く感じます。

5　**その他**

ＪＶＯＲＤについて　　**MD３３５アラート班長 Ｌ.藤之原美津子**

全国災害ボランティア支援団体の事です。全国社会福祉協議会は理事をされています。５月１２(木)・１３日(金)に全国フォーラムがあります。是非ウエーブでご参加ください。リーフレットをご参考にご覧ください。

私もウエーブで参加したいと思います。

一般社団法人日本ライオンズアラート委員長Ｌ．山川 洋

丸森支援について　　**MD３３２アラート委員Ｌ.木川田明弘**

丸森の集会所を LCIF が建設して頂きました。テレビ報道もあり PR になったと思います。

グアム・コロナ支援について　　**MD３３２アラート副委員長Ｌ.木村 知紀**

コロナ過の支援を日本から頂いたことにグアム前ガバナーから感謝の言葉を頂きました。国の違いにより消毒液等の支援物資には、日本語表記の為配布できなかった。FDA 認可がない場合は、気を付ける必要がある。

その為現地のメンバーでシール 10,000 枚を貼り対応した。よいアクティビティになったそうです。

岡山真備町水害支援について　　MD３３６アラート班長 L.藤井信英

真備町に公民館(１F)並びに備蓄倉庫(２F)が完成しました。その他に避難案内８か所・浸水水位マーク１５か所・非難誘導２３か所等、合計 LCIF(4 千万円)から頂きました。

三者協定について　　MD３３４アラート班長 L.西村和之

３３４－D地区にて金沢市内１３クラブと金沢市・金沢市社協との三者協定が出来ました。３ゾーンが重なる市で協定の難しい中、３人のＺＣＰの尽力で提携を刷ることができました。

フイリッピンについて　　MD３３０アラート班長 L.野村起成

日本の東京ライオンズクラブのスポンサーであるフイリッピンに対しての支援体制を、個人的に関係している団体に、今日本ライオンズがしている支援活動を報告していいのですか?

大丈夫です。　　**一般社団法人日本ライオンズアラート委員長L．山川 洋**

アラートセミナーの案内について　　MD３３７アラート委員 L.石永 扶佐夫

３３７－C地区内ゾーンから福島県・宮城県へ支援金を送ります。用途については問いません。３３７－C地区からもウクライナへ 20,000 ドル送る予定。

6 月 11 日アラートセミナーを開催します。場所は長崎佐世保です。

アルカス佐世保で 200 人規模予定しています。

総評　　日本委員会アラートアドバイザー 柿原勝彦

今の日本アラート委員会の前身は少数の人数で始まりました。数年の歳月を経て今の日本アラート委員会がありますが、早く一つの形を作り上げて、災害大国日本でライオンズクラブが出来ることを、各クラブに浸透させていければと思います。そのためにはアラートにかかわった方は役を終わられてもサポートをしていって頂きたいです。

次期の連絡事項　　一般社団法人日本ライオンズアラート委員長L．山川 洋

次回の第８回日本アラート委員会は５月３１日(火)１５：００。

そして６月２１日(火) １５：００から次期との引継ぎ会として行いたいです。

閉会のあいさつ　　西日本統括リーダー L.坂本恵一

本日は長時間お疲れさまでした。今日は具体的な内容での話が出来てよかったです 。332－Ａの木村副班長、準地区内マニュアル作成お疲れさまでした。
これからは、日本アラート委員会からではなく、準地区に合わせた基準を作ってもらえるような標準のマニュアルを提案していければよいと思います。これからの災害は大規模災害・複合災害が懸念されています。その災害に対応出来る様アラート関係者が固定化するのではなく、新陳代謝していって理解者が増えていければと思います。そんなライオンズクラブになれば良いと感じます。それでは第７回アラート会議を終了します。ありがとうございました。

議事録作成人一般社団法人日本ライオンズアラート委員会

334複合地区副班長　西村 和之

議事録署名人一般社団法人日本ライオンズアラート委員会

委員長　山川洋

2021～2022 年度

336 複合地区第 3 回アラート委員会 次第

日　時：2022 年 6 月 7 日（火）14：00～15：30
形　式：ハイブリッド ホスト接続：336 複合地区ガバナー協議会事務局
※議事録は録画配信とさせていただきます

出 欠

役　職	氏　名	REAL	WEB
336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一		○
336 複合地区アラート委員会担当ガバナー(B 地区ガバナー)	平山 智雄		○
336 複合地区アラート委員会 A 地区顧問	酒井 公一		○
336 複合地区アラート委員会 B 地区顧問	金礪　毅		欠
336 複合地区アラート委員会 C 地区顧問	池原　堅		○
336 複合地区アラート委員会 D 地区顧問	澤　辰水		○
336 複合地区アラート委員会委員長	高岡 英治	欠	
336 複合地区アラート委員会副委員長	小野 宗次	○	
一社）日本ライオンズアラート委員会 336 複合地区班長 336 複合地区アラート委員会副委員長	藤井 信英	○	
336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会委員長	大木 寿之		○
336-A 地区アラート運営部門運営リーダー	橋本 孝志		欠
336-B 地区アラート運営部門運営リーダー	眞治 憲之	○	
336-C 地区アラート運営部門運営リーダー	徳毛 直文		○
一社）日本ライオンズアラート委員会 336 複合地区副班長 336-D 地区アラート運営部門運営リーダー 336-D 地区緊急・災害・実動部門実動リーダー	吉村 あとむ		欠
一社）日本ライオンズアラート委員会 336 複合地区副班長 336-A 地区緊急・災害・実動部門実動リーダー	田中　元		欠
336-B 地区緊急・災害・実動部門実動リーダー	川本 浩一郎		欠
一社）日本ライオンズアラート委員会 336 複合地区副班長 336-C 地区緊急・災害・実動部門実動リーダー	細川　晃		○

司会進行：336 複合地区アラート委員会副委員長 小野 宗次

1. 開会挨拶　　336 複合地区アラート委員会担当ガバナー（B 地区ガバナー） 平山 智雄
2. 出席者紹介　336-B 地区アラート運営部門運営リーダー　眞治 憲之
3. 議長挨拶　　336 複合地区ガバナー協議会議長　福永 栄一
4. 顧問挨拶　　336 複合地区アラート委員会顧問（前 A 地区ガバナー）酒井 公一
5. 議　題

① 336 複合地区アラート委員会活動規定（案）に関して

6. 質疑応答
7. その他
8. 閉会挨拶　　336 複合地区アラート委員会副委員長　小野 宗次

2021-22年度ライオン誌日本語版委員会
第9回会議　報告書

日　時：2022年4月7日（木）13:30～16:00
場　所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	藏　大介	（石川県･金沢伏見ライオンズｸﾗﾌﾞ）
委員長	団　英男	（335複合地区／兵庫県･神戸みなとライオンズｸﾗﾌﾞ）
編集長	星野 勝美	（333複合地区／群馬県･太田ライオンズｸﾗﾌﾞ）
委員	大屋　保	（330複合地区／埼玉県･川越ライオンズｸﾗﾌﾞ）
委員	吉原 成昌	（331複合地区／北海道･苫小牧ハスカップライオンズｸﾗﾌﾞ）
委員	髙堂　裕	（332複合地区／秋田中央ライオンズｸﾗﾌﾞ）
委員	山邉 正重	（334複合地区／長野県･上田城南ライオンズｸﾗﾌﾞ）
委員	玉浦　巖	（336複合地区／広島県･三原浮城ライオンズｸﾗﾌﾞ）
委員	吉田　勲	（337複合地区／福岡県･北九州紫水ライオンズｸﾗﾌﾞ）
一般社団法人副理事長 PRマーケティング委員長	古川　隆	（337複合地区議長／福岡くしだライオンズｸﾗﾌﾞ）
事務総長	菅原 雅雄	（東京堀留ライオンズｸﾗﾌﾞ）
欠席者：国際理事	川島 正行	（茨城県･土浦北ライオンズｸﾗﾌﾞ）
国際理事	渡部 雅文	（岡山県･倉敷西ライオンズｸﾗﾌﾞ）
国際理事	永田 賢司	（京都洛陽ライオンズｸﾗﾌﾞ）
ITアドバイザー	荘　英隆	（東京恵比寿ライオンズｸﾗﾌﾞ）

◉

団委員長の開会あいさつの後、藏国際理事からあいさつがあり、団委員長、星野編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2021年7月～22年2月ライオン誌関係会計報告

社団の正味財産増減計算書（2021年7月1日～2月28日）を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。2月に発行したライオン誌3・4月号はLCIFキャンペーン100の国際本部指定記事が入ったため8ページ増の44ページとなったこと、また新型コロナの影響でクラブ発送作業を障害者支援情報センターから宛名商会に変更したことから、直接出版費は通常よりも約78万円増額となった。直接出版費累計30,619,154円、予算消化率は67.1%で、年間6回

中4回の発行が完了した時点としては妥当である。毎月発行のデジタル版関連費は8回発行完了時点で3,391,886円、予算消化率は54.4%と、コロナ禍で取材回数が減ったことが影響し費用が抑えられている。

●2022-23年度ライオン誌予算案

印刷版の6ページ建て年6回発行、ウェブマガジンの毎月発行を維持し、今後、印刷版からウェブマガジンに重心をシフトしていくためのリニューアル費用を含めた次年度予算案を承認。一般社団法人日本ライオンズに提出する。

2. 印刷版関係

●2022年5･6月号（4月20日発行）台割

台割に従い編集した記事を確認した。「国際理事だより：永田国際理事」、「編集室：髙堂委員、山邉委員」。取材記事「奉仕活動」は通常6本のところ、2月から3月にかけて取材を予定していた活動が中止または延期されたため2本となった。LCIF西日本豪雨交付金事業に関する取材記事と「Pick up」として332-B地区、333-C地区の活動を取り上げる他、「ライオンズ・インフォメーション」の「GAT情報」でGMAに関する報告を掲載する。編集担当職員の減員に伴い、この号から校正（再校1回）を外注した。

●2022年7･8月号（4月20日発行）台割（案）

「国際理事だより：川島、渡部国際理事」、「編集室：団委員長、星野編集長」。「2022-23年度地区ガバナー紹介」は前年と同様に4ページで掲載する。

3. ウェブマガジン関係

●2022年4月号（4月1日更新）出来

ウェブマガジン4月号の出来を確認した。

●2022年5月号（5月1日更新）更新予定（案）

5月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され承認した。

●2022年6月号（6月1日更新）更新予定（案）

6月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容が提出された。現時点で取材対象に挙がっているのは「奉仕活動」3本のうち1本で、残る2本は候補が固まり次第、確認する。

4. 主要記事予定

●2021-22年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。今年度

委員会の担当は7・8月号までとなるが、次年度国際会長テーマなどの国際協会指定記事を掲載する9・10月号（8月20日発行予定）の準備を進める必要があるため、次回委員会で同号の台割を検討する。

5. 小委員会報告

●ウェブマガジン推進小委員会

ウェブマガジンのリニューアルをテーマに3月31日に開催されたウェブマガジン推進小委員会の報告書が提出された。星野編集長（小委員会委員長）から、ウェブマガジンの内容をより充実させて魅力あるものとし、多くの会員に活用してもらうための方策や準備に関する提案事項の説明があり、それについて意見を交換した。

小委員会の提案事項のうち次の3項を、委員全員の賛同で決定した。

①リニューアル費用として150万円を次年度予算に上げる

②コンテンツの追加や変更、デザインなど具体案を立案する専門部会を立ち上げる

③リニューアル実施後、2023-24年度から印刷版発行回数を年4回とする

専門部会の構成は団委員長が選定し次回委員会で提案する。2023-24年度の印刷版発行回数については、今年度委員会の決定を次年度委員会に申し送る。

6. その他

●ライオン誌サポーター・アンケート

印刷版3・4月号発行後に行ったライオン誌サポーター・アンケートの回答を確認した。

●ライオン誌出版物

「ライオンズ・スクール初級編」の増刷3,000部の納本予定（4月8日）が報告された。

閉会あいさつ　団委員長

【次回以降開催予定】

5月10日（火）14:00～16:00（ウェブ）

6月 7日（火）13:30～16:30（集合）

2021-22年度ライオン誌日本語版委員会
第10回会議 報告書

日　時：2022年5月10日（火）14:00～16:00

場　所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	渡部 雅文	（岡山県･倉敷西ライオンズクラブ）
国際理事	藏　大介	（石川県･金沢伏見ライオンズクラブ）
国際理事	永田 賢司	（京都洛陽ライオンズクラブ）
委員長	団　英男	（335複合地区／兵庫県･神戸みなとライオンズクラブ）
編集長	星野 勝美	（333複合地区／群馬県･太田ライオンズクラブ）
委員	大屋　保	（330複合地区／埼玉県･川越ライオンズクラブ）
委員	吉原 成昌	（331複合地区／北海道･苫小牧ハスカップライオンズクラブ）
委員	髙堂　裕	（332複合地区／秋田中央ライオンズクラブ）
委員	山邉 正重	（334複合地区／長野県･上田城南ライオンズクラブ）
委員	玉浦　巖	（336複合地区／広島県･三原浮城ライオンズクラブ）
委員	吉田　勲	（337複合地区／福岡県･北九州紫水ライオンズクラブ）
一般社団法人副理事長 PRマーケティング委員長	古川　隆	（337複合地区議長／福岡くしだライオンズクラブ）
事務総長	菅原 雅雄	（東京堀留ライオンズクラブ）
ITアドバイザー	荘　英隆	（東京恵比寿ライオンズクラブ）
欠席者：国際理事	川島 正行	（茨城県･土浦北ライオンズクラブ）

◉

団委員長の開会あいさつの後、渡部、藏、永田各国際理事からあいさつとホノルル国際理事会の報告、古川副理事長からあいさつと社団の活動報告があったのに続き、団委員長、星野編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●次年度予算と印刷版発行回数

古川副理事長から、4月27日開催の第5回一般社団法人日本ライオンズ理事会で取り上げられたライオン誌関連事項について報告があり、2022-23年度日本ライオンズ予算案が前回委員会でまとめたライオン誌予算案通りに

承認されたこと、また、2022-23年度はライオン誌の年6回発行のうちパイロットとして2回をPDF配布とし、それによる経費削減効果を測りたいとの提案がなされたことが説明された。説明を受けた後、吉田委員から「前回委員会で2022-23年度は印刷版（印刷した冊子）の発行を年6回、2023-24年度からは年4回と決めて、次期委員会に引き継ぐことを決定している。次年度は印刷版年6回発行を維持するべき」との発言があった。さらに団委員長から、社団理事会で印刷版年6回発行・送付の費用を含む次年度予算案が承認されたことを古川副理事長に再度確認した。

委員会としては前回決定した通り、印刷版年6回発行を次期委員会に申し送る。

●2021年7月～22年3月ライオン誌関係会計報告

社団の正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。3月にはライオン誌印刷版の発行がなかったので、直接出版費の予算消化率は67.1%で先月からほぼ変動なし。毎月発行のデジタル版は9回発行完了時点の予算消化率が58.6%と、コロナ禍で取材回数が減ったことが影響し費用が抑えられている。

2. 印刷版関係

●2022年5･6月号（4月20日発行／83,600部）出来

4月20日に発行した5･6月号の出来を確認した。

●2022年7･8月号（6月20日発行）台割（案）

「国際理事だより：川島、渡部国際理事」、「編集室：団委員長、星野編集長」。「2022-23年度地区ガバナー紹介」（4ページ）を掲載する。国際本部配信の「2020-21年度LCIF年次報告」はオセアル調整事務局に日本語訳の提供を依頼し、2ページの記事にまとめる。4月開催のホノルル国際理事会決議事項要約がこの号に間に合うよう入手出来た場合、台割を調整して掲載する。

●2022年9･10月号（8月20日発行）台割（案）

表紙は国際本部指定の国際会長ポートレート。同じく指定記事の「2022-23年度国際会長テーマ」は要約版（2ページ）を掲載する。「モントリオール国際大会」は取材を行わず、国際本部からの配信や、大会参加者からの提供によって集めた情報や写真を使用する。その際、従来の取材記事に準じた内容で記事をまとめられるよう配慮する。「ライオンズ･インフォメーション」の「国際理事だより」はモントリオール国際大会で就任する新国際理事に原稿を依頼、「GAT情報」「日本ライオンズ情報」は休載する。

●用紙代値上げ

共同印刷から提出された用紙代値上げの見積書を確認し、了承。値上げされた価格は7・8月号分から適用される。

3. ウェブマガジン関係

●2022年5月号（5月1日更新）出来

ウェブマガジン5月号の出来を確認した。

●2022年6月号（6月1日更新）更新予定（案）

6月号の主要コンテンツについて、活動概要や取材経費が提出され承認した。

●2022年7月号（7月1日更新）更新予定（案）

7月号の主要コンテンツについて、活動概要や取材経費が提出され承認した。「奉仕活動」3件のうち1件は該当クラブの都合で取材見合わせとなり、他のクラブの取材を調整中であることが報告された。

4. 主要記事予定

●2021-22年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

●2022年3、4月取材経費

3、4月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され確認した。

●2022年5、6月取材経費概算

5、6月に予定している取材の経費概算が提出され、承認した。

5. その他

●ウェブマガジン専門部会

前回委員会で設置を決めたウェブマガジンのリニューアルに取り組む専門部会について、団委員長から下記の構成が提案され、承認された。

【ウェブマガジン専門部会】

2020-22年度委員長　団英男

同　　編集長　星野勝美

2019-20年度編集長、20-21年度副委員長　稲岡敬弘

ITアドバイザー　荘英隆

2022-23年度委員長　未定

今後、印刷版の発行回数を減らすことを見据えて、ウェブマガジンを会員にとってより役立つものにバージョンアップして普及させることを目的に、専門部会はリニューアルの具体案策定、業者との打ち合わせなどに当たる。2023年3月のリニューアル完了を目標とし、同年2月までを活動期間とする。次年度委員長が決定するまでの期間はその他の4人で活動し、次回委員会にリニューアル完了までのロードマップを提出する。

●サバンナ（ServannA）関係

全35準地区を対象に実施した「次年度の地区版サバンナ利用についてのアンケート」の回答結果を確認した。各地区が運用している地区版サバンナを2022-23年度に使用すると回答したのは34地区で、今年度と変わりなし。地区版未使用の1地区は今年度からライオン誌発送先住所等の更新専用システム（サバンナ）を利用している。よって、次年度もライオン誌発送に必要な会員及びクラブ事務局の住所をサバンナから抽出出来ることを確認した。

●2022-23年度ライオン誌年間購読の請求書発行

クラブ事務局保管用や図書館等への寄贈用としてライオン誌印刷版の年間購読を契約している約200クラブへの次年度分請求書（例年は7月1日付で発行）を、次年度の印刷版発行回数が確定した後に発行・発送することを承認した。

審議終了後、団委員長が各委員に今年度これまでの委員会活動等について発言を求め、ウェブマガジンの方向性や会員への普及策、アクセスの利便性向上などについて意見が発表された。各委員の意見を受けて団委員長は、「ライオン誌は会員サービスの一環であると捉えるべきで、サービスを低下させないためにはどうするべきかを考えていかなければならない」と述べた。

閉会あいさつ　団委員長

【次回開催予定】

6月7日（火）13:30～16:30（集合）＊終了後、懇親会

2021～2022 年度

第 2 回 336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会(WEB) 次第

日 時：2022 年 5 月 17 日（火）13:30～15:30

役　職	氏　名	出欠
336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一	欠
次期 336 複合地区ガバナー協議会議長予定者	池原　　堅	○
336 複合地区ガバナー協議会会計（B 地区ガバナー） 336 複合地区 IT・MC・ライオンズ情報委員会担当ガバナー	平山 智雄	○
336 複合地区ガバナー協議会副議長（C 地区ガバナー）※オブザーバー	三島 英揮	○
336 複合地区 IT・MC・ライオンズ情報委員会委員長	高岡 英治	○
336 複合地区ガバナー協議会事務局運営員会委員（A 地区幹事） 次期 336- A 地区 DX チームリーダー 次期 336 複合地区 IT・M・ライオンズ情報委員会世話人予定者	長尾 和彦	○
336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会委員長（D 地区） 336-D 地区 IT 委員長 次期 336 複合地区事務局サポート委員会世話人予定者	大木 寿之	○
336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会副委員長（C 地区） 次期 336 複合地区 IT・M・ライオンズ情報委員会委員長予定者（C 地区） 次期 336 複合地区事務局サポート委員会委員長予定者（C 地区）	濱本 義樹	○
336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会委員（B 地区）	難波　　進	○
336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会委員（A 地区）	五味 俊一	○
次期 336 複合地区 IT・M・ライオンズ情報委員会副委員長予定者（A 地区） 次期 336 複合地区事務局サポート委員会副委員長予定者（A 地区）	泉　　清博	○
次期 336 複合地区 IT・M・ライオンズ情報委員会委員予定者（A 地区） 次期 336 複合地区事務局サポート委員会委員予定者（A 地区） 次期 336-A 地区 DX チーム委員	十川　　剛	○
336-B 地区 MC 委員長 次期 336 複合地区 IT・M・ライオンズ情報委員会委員予定者（B 地区） 次期 336 複合地区事務局サポート委員会委員予定者（B 地区）	住吉 孝文	○
336-C 地区 IT 推進プロジェクトリーダー	徳永 明彦	○
次期 336 複合地区 IT・M・ライオンズ情報委員会委員予定者（C 地区） 次期 336 複合地区事務局サポート委員会委員予定者（C 地区） 次期 336-C 地区 IT 推進プロジェクトリーダー予定者	宮本 浩二	○
336-D 地区 IT 副委員長 次期 336 複合地区 IT・M・ライオンズ情報委員会委員予定者（D 地区） 次期 336 複合地区事務局サポート委員会委員予定者（D 地区）	廣畑 雅弘	○
次期 336-D 地区 IT 副委員長予定者　※オブザーバー	日下 眞二	○
336-A 地区キャビネット事務局員（同次期）	鍋島 明弘	○
336-B 地区キャビネット事務局員（同次期）	河原 恭子	○
336-C 地区キャビネット事務局員	礒元さをり	○
336-D 地区キャビネット事務局員	田中絵美子	○
次期 336-C 地区キャビネット事務局員	飯島真奈美	○
次期 336-D 地区キャビネット事務局員	伊佐 貴江	○
336 複合地区ガバナー協議会事務局員	高杉/太田	○

※司会進行：336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会委員長 大木 寿之

【開 会 挨 拶】　336 複合地区 IT・MC・ライオンズ情報委員会担当ガバナー　　平 山 智 雄
【出席者紹介】　336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会委員長　　大 木 寿 之

【議　　題】　①ライオン・アカウントを持っていないクラブの現況報告
②毎月の MyLCI での会員動静報告未報告クラブ「ゼロ」の達成について
③次年度のクラブ役員を 6 月中に登録するために
④今期から来期へのキャビネット事務局業務（IT 関連）の引継ぎについて
⑤その他

【閉 会 挨 拶】　336 複合地区 IT・MC・ライオンズ情報委員会委員長　　高 岡 英 治

■発表について、下記通りご準備ください。

出席者紹介は、別紙出欠表の上段から順に 30 秒程度の自己紹介をしていただきます。
時間厳守で長くならないようにおねがいします。

議題①　※ライオン・アカウントの取得状況について各準地区ごとに現期キャビネット事務局員にお尋ねします。正確な数字でなくても大体の数字で結構です。
（補足があれば IT 特別委員・準地区 IT 委員長にも発言していただきます。）

次にライオン・アカウントを会長・幹事・業務担当者いずれも取得していないクラブにどのように周知・啓蒙し取得してもらえば良いか、また、次年度向けてすべてのクラブに取得してもらうために今期どこまでできるかなどの計画も含めてお話し下さい。
（キャビネット事務局員・IT 特別委員・準地区 IT 委員長どなたでも結構です。）

議題②　※毎月の MyLCI での会員動静について未報告クラブをゼロにするための手段をお話しください。各準地区ごとにお聞きします。
（キャビネット事務局員・IT 特別委員・準地区 IT 委員長どなたでも結構です。）

議題③④※次年度の役員登録・今期から来期への引継ぎについてお話いただきます。
各準地区ごとにお聞きします。
MyLCI・SERVANNA についてお話しください。
（キャビネット事務局員・IT 特別委員・準地区 IT 委員長どなたでも結構です。）

議題⑤　※何か取り上げてもらいたい議題があれば 5 月 13 日(金) までに MD 事務局へメールを入れておいてください。

●なお、次期のキャビネット事務局員さんは、発言の機会があまりございませんが、現期でどのような動きがなされているのか、IT の活用に関する問題点や、どのような流れで進められているのか等、今会議で少しでも体感していただければと思います。